



TITLE:

[亀田治メモランダム  
]Memorandom6 (KDD本社) : 1980年  
4月1日-1981年7月14日

AUTHOR(S):

---

CITATION:

[亀田治メモランダム]Memorandom6 (KDD本社) : 1980年4月1日-1981年7月14日. CIAS discussion paper No.29 : <東アジア地域研究モノグラフ・シリーズ> 亀田治メモランダム(旧KDD同軸海底ケーブル建設事業覚書) 2013, 29: 195-235

ISSUE DATE:

2013-03-31

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/228550>

RIGHT:

© Center for Integrated Area Studies (CIAS), Kyoto University

# Memorandum 6

(KDD 本社)

1980 年 4 月 1 日～1981 年 7 月 14 日

1980 年(昭和 55 年)

4 月

- 1 日  
(火) ・ 創業記念日.  
式典 帝国ホテル 11:00~12:00.  
祝賀パーティ // 12:00~14:00.  
終了後、帰社.
- 2 日  
(水) ・ 海底ケーブル委員会 ケーブル船小委員会会合(第 1 回)14:00~16:20.  
笹本小委員長 海外出張中のため、志村常務、出席.  
・ NEC より連絡を受けた、米国商務省の地質学専門家による日本海溝附近の生成に関する講演会に、江幡副参事を派遣.
- 3 日  
(木) ・ 事業所長表彰の式典に参列.  
11:30~ 京王プラザホテルにて.  
・ 部打合会(15:00~16:30). ・ 海底線部の人事異動関係者の歓送迎会(北京大飯店).
- 4 日  
(金) ・ 部長会(10:00~11:30).  
・ 沖台ケーブル建設の技術資料の“まえがき”原稿作成を進める.
- 5 日  
(土) ・ 出社.  
沖台ケーブル建設の技術資料の原稿をかく.
- 7 日  
(月) ・ ケーブル船の検討のための ATT/KDD 作業部会に対する付託事項について、ATT へ出す書信を検討.  
・ 新技術開発委員会(第 48 回)に出席. (13:30~16:30)
- 8 日  
(火) ・ 総務部に、“役員会付議基準(案)”に対するコメントを提出.  
(建設部長、海底線部次長、業務課長らと検討).  
・ 志村常務、担当室部長 連絡打合会(14:00~15:00).  
(海)より、日韓ケーブル会議の 5 月開催日取りと、議題.  
・ 志村常務: 4 月 8 日夜、東京 発、CCITT 世界プラン会議にて講演のため、パリへ.  
4 月 18 日(金)まで 海外出張.  
・ 4 月 8 日付で、ATT. Mr. Tuttle Jr. へ、ケーブル船作業部会への付託事項案の書信送付.
- 9 日  
(水) ・ 沖縄-台湾間ケーブル建設の技術報告資料の原稿作成.  
・ Look Japan 紙より、原稿の依頼あり.
- 10 日  
(木) ・ Look Japan 紙依頼の“海底ケーブルによる国際通信動向”の投稿処理方法について、広報室、権田課長に問い合わせ、広報室より、Look Japan に連絡をとるとのこと.  
・ 富士通 新川顧問 来訪.  
タイ-マレーシア-シンガポールケーブルの問題の状況について、情報を持参. 夫々の国内法の適用をめぐる、意見の統一が取れず、遅延しているとのこと.  
・ 日中間海底ケーブル保守会議(第 2 回)に出席のため 来日している中国代表団の社長招宴に出席. (北京大飯店, 18:00~20:00)
- 11 日  
(金) ・ 部長会(10:00~12:00).  
・ 日韓ケーブル技術専門家会合に出席のため、ソウルに出張する. 矢口、松本(一)両君に、5 月開催予定のケーブル会議の日取り、議題の下打合せの方針について示唆.  
・ 部内有志で Marjan.

- 12 日 週休  
(土)
- 14 日 ・海底ケーブル委員会 技術小委員会. (14:00～18:00).  
(月) ・笹本取締役任に、4月2日に開かれた、海底ケーブル委、ケーブル船小委の状況について説明. (18:30～ ).
- 15 日 (特記事項なし)  
(火)
- 16 日 ・研究所新納君 来訪.  
(水) ・光海底ケーブルの海洋実験計画、その他について討議. (9:15～10:30)  
・研究室推進の分担、統括の体制が不十分との感を受ける.  
・石川保全部長と、ケーブル船小委会合の開催について協議.
- 17 日 ・KDD における春季闘争 妥結.  
(木) ・北京長途電信局長(呂明氏)一行、NTT の招きで来日し、KDD を訪問：昼食レセプション(会長、社長ほか出席)に参加、32F.  
団長 呂明 北京市長途電信局局長.  
副団長 朱伯禄 郵電部電信総局副局長、兼総工師.  
団員 楼海日 〃 科学技術局副総工師.  
ほか 5 名.  
・江幡、畠山 両君に、ケーブル船に関するこれ迄の関係資料ファイルを引渡す.  
夜、両君と懇談.  
風雨強く、雷鳴あり.

添付資料：報告事項(55. 4. 9～4. 18)

志村常務殿

55. 4. 21  
(海)海底線部長

1. AT&A の Mr. Pappert が 3 月 31 日来社し、AT&T の諸ケーブル計画に関する対 FCC 折衝の最近の情勢について同氏から説明された。その概要とこれに関連して行なわれた KDD 関係部門との意見交換は別紙 1 のようである。
2. 日韓ケーブル会議(第 8 回)の開催日程について、MOC より 5 月 22 日(木)より 26 日(月)までをケーブル会議期間とし、その直前の 5 月 19 日、20 日に各作業部会を開くことでどうかと事務レベルでの打診があった。(4 月 9 日)。(別紙 2)
3. 富士通 新川顧問より、タイマレーシアシンガポール間海底ケーブル計画の最近の情勢について別紙 3 のような説明を受けた。(4 月 10 日)。それによれば契約適用法規に関してマレーシアとタイ・シンガポールとの間の調整がつかないため、未だに 3 国間の基本合意が得られるに至らず、計画は大巾に遅延しているとのことである。
4. 海底ケーブル委員会の各小委員会の開催が次のように予定されている。  
・技術小委員会(第 2 回会合)： 4 月 21 日(月) 14:00～  
・ケーブル船小委員会(第 2 回会合)：4 月 23 日(水) 14:00～

- 別紙 1. 国際部からの連絡カードによる会合記録.  
// 2 海底線部連絡カードによる関係部への情報.  
// 3. 新川顧問持参の資料.

以上

- =====
- 18 日 ・部長会. (10:00~12:00)  
(金) ・経理部より実施計画の紹介, 事業計画との性格の相異, 等を廻って議論あり.  
・日韓ケーブルの建設フローチャートについて木下次長と討議.  
・第2 COMPAC の投資方針について総企会で討議あり, 出席を求められる. (16:15~17:45).  
・気分悪くなり, 救急車にて, 駒ヶ峰病院にて手当てを受ける.
- 19 日 休. 佼成病院内科にて診断を受ける.  
(土)
- 21 日 ・志村常務パリ出張中の主要事項について, 別添の報告.  
(月) ・海底ケーブル技術小委(第2回)会合, 委員長の都合がつかず, 委員間で資料の検討と意見交換に留まり, 予備会合となる. (15:30~17:00).
- 22 日 ・NEC 鈴木欽也氏, 大崎氏 来訪, 13:30~15:30.  
(火) △I-S(ASEAN)ケーブルの保守について, NEC は委託契約しているが, そこで10日以内に修理し, 越えた日数により penalty を払うように規定されている. 修理用の船の手配が問題であるが, 最近 TAS(シンガポール)は, CW と船を使用について合意したが, 将来は ASEAN Cable Ship をもちたいとして, NEC にいかなる船がよいか提案を求めている. 出すに当たって KDD の了解を得たい.  
○TAS の requirement (守備範囲, 保守専用か否か, 要求性能等)をよくきき, それに応じて, reasonable price の船(新造 or 改造)を提案すべきであろう. 時間がなければ, 条件を明確にして, 複数案を呈示したらどうか. KDD としては, TAS から相談を受ければ, それに応じて検討する. NEC から案を出す時は, 事前に KDD にも連絡してほしい.  
・富士通 森山(節二)顧問 来訪 15:30~16:10  
東大海洋研と NHK 基礎研の共同の深海底探査システム開発について.  
光海底ケーブルを使用するので, KDD, NTT の了解が要るやに思われるので, どんなものか話にきたとのこと. 何れ, 詳細計画をもってくる. OCC, 富士通が協力.  
・OCC 斎脇氏来訪 16:10~16:30.  
ASEAN I-S ケーブルに生じたカプリングの事故について, 何れ, 原因究明後, 報告する.
- 23 日 ・海底ケーブル委員会 ケーブル船小委員会 第2回会合. 14:00~16:00.  
(水) ・笹本委員長, 志村常務, ほか.
- 24 日 ・海底ケーブル委, ケーブル技術小委員会 第2回会合. 10:00~12:30.  
(木) ・海底線部打合会. (16:00~17:00)  
部長会の模様等を伝達.
- 25 日 ・部長会 なし.  
(金) ・海底ケーブル委員会(第29回). 14:00~17:30.  
各小委からの報告と, 今後の活動について, 審議.
- 26 日 ・胃の X 線検査, 佼成病院.  
(土) 休み.
- 28 日 休暇, ごてんばへ行く.

(月)

29 日  
(火) ・天皇誕生日で祝休日.

30 日  
(水) ・海底線部, 管理者の定期管理表作成.  
次課長, 副参事の分は, 担当役員へ, 3. 4 類管理者の分は, 職員部長あて, 提出.

**5 月**

1 日  
(木) ・午前, 佼成病院にて, 検査結果をきく, 1 週間後に, 念の為, 胃カメラで検査することとなる.  
・総 企会に 出席. 14:00~15:40.  
GNTC/KDD 会談の対処方針, 案. (第 2 JASC の検討など)  
・広報室 徳味調査役に, Look Japan より の原稿依頼について, きく.

2 日  
(金) ・部長会. (10:00~11:30).  
・保全部長より.  
① ATT とのケーブル船作業部会会合について.  
② 日中ケーブル障害時に, 自衛隊機を直ちに飛ばして, 船舶の航行状況を視認してもらうことが可能かどうか, 防衛庁にきく伝手がありや.

3 日  
(土) 祝日

4 日  
(日) 祝日

5 日  
(月) 祝日.

6 日  
(火) ・定例 連絡打合会(常務, 担当室部長)14:00~15:40.  
・組織改正について: 現場的要素を本社から移す件.  
海洋調査, 工事, 試験等は, KCS へ移す.  
・これに関連し, 1. 子会社を充実, 自立させるべきである.  
2. 組織を作ればよしとせず, 職責を果たすことのできるよう必要な人員を当てるべきである.  
との意見を述べる.

7 日  
(水) 午前, 佼成病院, 皮膚科と, 内視鏡科へ.  
・KDD/GNTC 会談に, 午後から出席(14:00~16:30).  
第 2 JASC 計画の是非に関し討議.  
・NEC 鈴木欽也君に, ASEAN I-S の保守に関し, きく. CW 船を頼むこととなつて, NEC, CW 間の修理時の責任所在はどうか, など.

8 日  
(木) ・KDD/GNTC 会議. (国際部 主管)に出席.  
第 2 JASC 建設の是非について, 討議. (10:00~11:30).  
・昼食: 京王プラザホテル, アンブロシア, にて.  
・5 月下旬から 6 月始めにかけて, 日韓ケーブル, ケーブル船に関する ATT/KDD 作業部会, APMC, の諸会合が予定されているので, それらへの出席について国際部, 保全部と協議: 志村常務より, APMC 会合への出席を指示される.  
・GNTC より の招宴. (ストックホルム): 笹本取締役, ほか, 関係部課長, 参加.

9 日 ・部長会(10:00~12:00).

- (金)
  - ・保全部長と ATT とのハワイにおけるケーブル船関係の会合, APMC の会合への対応について協議.
  - ・志村常務より, 5 月 29 日(木)に決算取締役会が開かれるので, 日韓ケーブル会議をそれ以降にするよう MOC と協議してほしい旨話しがあり, 営業課長に連絡をとらせる.
  - ・シンガポール石井所長に Tel. (16:30~).
  - APMC 会合に関連し, 情勢をきく.
  
- 10 日
  - ・出社.
- (土)
  - Look Japan 紙より依頼の原稿作成を進める.
  
- 12 日
  - ・シンガポール事務所 石井所長に Tel. (11:30~).
- (月)
  - ・APMC 会合後, シンガポールを訪問する予定である旨, 伝える.
  - 又, Cable Depot, Cable Station の訪問が可能かどうかをきく.
  - ・国際部 佐藤協一課長と, APMC 会合への出席に関し, 協議.
  
- 13 日
  - ・佼成病院, 検査結果の聴取. (14:00~).
- (火)
  - ・常務, 室部長, 連絡打合せ. (15:30~16:30).
  
- 14 日
  - ・NEC 営業 清水氏より, ATLANTIS ケーブルに応札したが, セネガルに対し, 延べ払いを通産で認めないため, 情勢は芳しからずとの情勢あり.
- (水)
  
- 15 日
  - ・部 打合せ(10:00~11:30).
- (木)
  - ・TPC-3 の陸揚地に関する検討の予備打合せを 5/23(金)に開くこと.
  - ・6/20 予定の海底ケーブル委員会に合せて, 各小委の会合を予定すること.
  - を要望.
  
- 16 日
  - ・部長会. (木下次長に代理出席を依頼).
- (金)
  - ・Look Japan 紙への原稿をかき上げ, 井上記者に渡す. (16:40~).
  - ・日中ケーブル, またも障害の報あり.
  - ・旧, 二宮中継所メンバーの集い. (新宿会館→ギルド).
  
- 17 日
  - ・出社.
- (土)
  - ・保全部長と, 日中ケーブルの障害を起した原因の調査等につき, 協議.
  
- 19 日
  - ・星齒科(三井ビル).
- (月)
  - ・ASEAN CABLE MANAGEMENT COMMITTEE 会合(5 月 29 日~30 日)及び小委員会会合(5 月 27 日~28 日)への対処方針案について, 国際部, 経理部の関係者間で打合せ. (14:00~16:00)
  - ・志村常務に, 上記 説明.
  - ・シンガポール事務所 石井所長に Tel するも外出中, 後刻, 折返し, Tel. あり, APMC 会合への出席並びに, シンガポール訪問のスケジュールについて打合せ. (13:30~ )
  
- 20 日
  - ・日中ケーブルに障害 No. 3 が起きたことに伴い, 日韓ケーブルの安全性にも懸念が及び, 再検討と, 対策について, 関係者間で協議. (10:00~12:00)
  - 志村常務, 海建本部, 保全部, 各部 部・次・課長 他.
  - ・NEC 鈴木氏に Tel. APMC 会合へ出席するに当り, 関係情報の提供を依頼.
  - 5 月 22 日(木)に来訪を求める.
  - ・海建本部関係者(建設部, 海底線部)間で, 日韓ケーブルに対する埋設ケーブルの安全性を高める対策の調査等の協議(15:00~17:00)
  - ・NASC 木村社長に, ACME 会合出席のため, 5 月 25 日~6 月 4 日, タイ・シンガポールへ出張する件につき, 了承を得る.
- (火)

- 21 日     • NASC 取締役会. 15:00～.  
(水)       54 年度決算書類の審議.  
          • 新宿三井ビル, 副都心クリニックにて, コレラの予防注射(Booster).
- 22 日     • NEC 鈴木(欽也), 岡田 両氏来訪. (10:00～12:00)  
(木)       海協室, 三宅次長 ほか と, 東南アジア, ASEAN のケーブル関係の情報をきく.  
          P-S, I-S, MENANG, Singapole-Medan, 等.  
          • APMC 会合出席のための, タイ・シンガポール出張に伴い, 海外協力室 三宅次長 ほかから,  
          東南ア方面の海外技術協力の状況と問題についてきく. (16:00～17:00)
- 23 日     • 部長会(10:00～12:00)  
(金)       • TPC-3 の日本側陸揚地に関する調査の問題など, について, 部内関係者と予備討議: 問題  
          の大きい, 漁撈活動状況の調査を先ず主点として(13:30～14:40)進めること, 6 月中旬の  
          計画小委に調査計画案を出すこと.  
          • 日韓ケーブルの対漁業・保護対策と, スケジュールへの影響, 等について部内打合せ. (15:00  
          ～16:00).  
          • 富士通 海外営業 北村氏の来訪を求め, T-M-S ケーブルの状況, マレーシア, タイ関係要人  
          の動きなどをきく(16:00～16:40)  
          • 志村常務に, 概況報告と, 出張のあいさつ. (17:00～ )  
          • 日韓ケーブル会議の対処方針案について, 各作業部会の対処方針案も併せて作成するよう,  
          業務課長に指示. (17:20～17:45).
- 24 日     • 出社.  
(土)       • Look Japan 紙への原稿英文チェック終了も, 井上記者現われず.  
          • 織間建設部長と諸事打合せ.
- 25 日     ASEAN Cable Management Committee Meeting に出席のため, タイへ向け, 出発.  
(日)       6 月 4 日まで, タイ・シンガポールへ出張.  
          5/25～5/31, バンコク・パタヤ.  
          6 月 1 日～4 日 シンガポール.
- 6 月**
- 5 日     • 帰着のあいさつと, 概況報告を, 志村常務へ.  
(木)       • NEC 鈴木欽也氏 来訪.  
          • 武田業務課長より, 不在中の諸問題につき報告を受ける.
- 6 日     • 日韓ケーブル会議(6/7～11)出席のため, 志村常務, 武田課長 ソウルへ.  
(金)       • 部長会. (10:00～11:00)  
          • 施設部門近代化計画の一環として, 日韓ケーブル計画を労組に説明(14:30～15:15)  
          • 社内 東北大出身者 同窓会.
- 7 日     • 出社.  
(土)
- 9 日     • 富士通 北村課長(海外営業)より Tel. バンコクへ6 月 1 日に行き, 帰ってきたとのこと.  
(月)       明日, 新川さん来訪するよう希望.  
          • APMC 会合報告のとりまとめ.  
          • 星齒科医へ.
- 10 日     • 富士通 新川顧問, 北村課長と共に来訪. (10:30～12:00)  
(火)       海協室 三宅次長, 上野副参事を交え, APMC 会合の概況報告, ならびに, ASEAN T-M-S



- ケーブルの動向に関し、意見・情報の交換.
  - ・ソウル木下次長より TEL.  
会議は予定通り進み、明日、ミニッツ確認で終了の予定、とのこと.
  - ・台湾より訪日中のデータ通信調査団の社長招宴(昼, 32F), DGT の王梅華氏, Mr. Chu に会う.
- 11 日  
(水)
- ・シンガポール訪問の報告を書き終え、国際部 恵木君と、会合報告のまとめについて協議.
- 12 日  
(木)
- ・NASC 取締役会 15:00～
  - ・夕刻 日韓ケーブル会議が終り ソウルより帰国の志村常務から、自動車電話がかかる.
  - ・保全部, 石川部長に TEL: ケーブル船小委について打合せ.
- 13 日  
(金)
- ・海底ケーブル委, ケーブル船小委. (10:00～12:00).  
ATT/KDD 作業部会 第1回会合(ハワイ)報告, と今後の作業.
  - ・日韓ケーブル会合の様相について、同会議に出席した、木下次長, 武田, 猪股両課長から報告. (15:40～16:40).
- 16 日  
(月)
- ・新技術開発委員会(第49回)13:30～17:00.
- 17 日  
(火)
- ・海老沼さん来る. 石井シンガポール事ム所長よりの預かりものを渡す, 一緒に昼食. (メダリオン)
  - ・NASC 谷野君に, 日韓ケーブル用 cable loading 手伝ってもらう件について, 職員部, 総務部(監理課)との協議も調ったというので, 志村常務, NASC 木村社長に話し, 了承を得る.
  - ・部, 打合会, 16:30～17:00.  
(木下次長, 猪股課長, 湯口調査役 欠席).
- 18 日  
(水)
- ・木下次長, 武田業務課長, 矢口技術課長補佐 より.
  - 1. 日韓ケーブル布設時に, KDD 丸が釜山へ入港時の通関問題について, 説明のため, MOC より KDD 関係者の訪韓が望まれている: 工程管理の立場から, 技術課が follow-up するよう指示.
  - 2. KDD 丸が釜山入港の際, MOC の高級幹部, (次官 ほか)が同船を見学する希望があるとのことで, 関係方面(とくに KCS)との協議の下に, MOC の意向も業務課を窓口に確かめるよう指示.
- 19 日  
(木)
- ・ケーブル技術小委員会. 14:00～16:30.
  - ・新川さんとの懇談会(サンルート, 3F). 18:30～21:00.  
終って, 西田(昌弘), 成田(回網管理部長)両氏と懇談.
- 20 日  
(金)
- ・志村常務より, 組織改正について, 海建本部は日韓ケーブル建設終了まで現状維持とするが, そのあとの問題 ならびに, 保全の仕事が東京支社へ移るとされているので海底ケーブル関係の保守業務をとどのように扱うのが組織上, よいか. 建設部長, 保全部長と協議することとする.
  - ・海底ケーブル委員会(第3回), 14:00～16:45.
  - ・石川保全部長とケーブル船の問題など協議.
  - ・午前の部長会 木下次長に代理出席してもらう.
- 21 日  
(土)
- ・出社.

- 23 日 ・ 石井シンガポール事ム所長より，Letter，来る。  
(月) ・ ケーブル船の今後の検討作業について打合せ：江幡，武田，畠山君ら。
- 24 日 ・ 常務，室部長 連絡打合会(14:00～15:30)  
(火) ・ 7 月 1 日以降の，常務会，幹部会の設置について常務より説明あり。
- 25 日 ・ 寄居 CC. 本社へ，正社員への手続き。  
(水) ・ ケーブル船についての検討方針打合(15:00～17:20).  
江幡，畠山，武田，猪股君ら。
- 26 日 ・ 組織改正における海底線関係の業務のあり方について，  
(木) 建設部長，保全部長と協議(10:00～11:30).  
・ 臨時部長会(11:30～12:10)  
・ 今後の常務会と幹部会議について。  
・ 海老沼さんの送別会。  
・ 湯口君より，研究所からの光ケーブル海洋実験に対する協力についての打合せの報告あり。  
(6/25 日)
- 27 日 ・ 株主総会に出席。(10:00～11:30).  
(金) ・ 志村常務より，役員の担務について話しあり，(14:00～ )。  
・ 会社の機構改正について，石川保全部長と協議。  
・ 海老沼さん 退職。
- 28 日 ・ 佼成病院 皮膚科。  
(土) ・ 出社。
- 30 日 ・ 部 打合会(9:30～10:45).  
(月) ・ 常務会，幹部会議の設置と，それらの規呈について周知。  
・ NASC 株主総会(14:00～ )。  
社長に KDD 元常務 古橋さん 就任。終了後，KDD 会長，社長にあいさつ。  
・ 石川保全部長，織間建設部長と 組織の問題について討議。  
・ NASC 社長招宴。(小田急 HALC，豪華)。

## 7 月

- 1 日 ・ 総務部 湯本副参事と 組織の問題について協議。  
(火) ・ OCC 斎脇氏来訪，：例年の KDD，KCS，NASC との懇親会について。  
・ 寄居 CC. (特記事項なし)さん，書類を持参。(13:30～ )。  
・ 海底線関係の新組織と担務について検討。
- 2 日 ・ 保全部長，建設部長と 組織問題の協議。(9:30～10:30).  
(水) ・ 志村常務に，組織問題の検討状況の中間報告。  
OCC との懇談会，ケーブル船の問題等，を説明。(11:00～12:00).  
・ KEC 図書 英語版作成の打合せ(14:00～16:00)。
- 3 日 ・ 来週，OLU ケーブルの回線復旧計画に関する会合出席のため，訪台される笹本常務に，OLU  
(木) 布設替修理用機材の調達状況についてのメモを提出。
- 4 日 ・ 第 1 回幹部会議。(10:00～12:00).  
(金) 増田社長，宮副社長 出席され，社長より今後の会社の刷新に関する施策の方針について  
抱負が語られる。  
・ 研究所新納君が，光海底ケーブルに関する BTL との意見交換のため，渡米するので，N. Y.

- 事ム所 遠藤調査役への手紙(昨年 10 月, ホテル朝食代の立替分 6\$ 同封)を託す.
- ・支社における技術部門の組織について, 関係部長間で意見を交わす. (13:30~16:30).
    - ・総務部 湯本副参事主催.
    - 石川保全部長, 池田伝送施設部長, 森田建設部次長(織間部長 代理).
    - 建設・保全を包含する縦割りの施設部門の是非について.
- 5 日 休.  
(土)
- 7 日  
(月)
- ・志村常務, 担当室部長, 連絡打合せ. (10:00~11:45).
    - ・常務会(7 月 3 日)の模様.
    - ・組織改正について, 施設系のたて割り組織の是非等 討議.
  - ・海底ケーブル委, 小委員会の委員長について, 志村常務より, 検討の要の話しあり, 武田, 猪股課長に, 各小委事ム局で, 部長を小委・委員長にすることを協議するよう指示.
  - ・NASC 古橋社長に, 沖一合ケーブルの保守会議を 8 月に開くため, ITDC, KDD との協議を進める件, 了承を得. 清水課長に, ITDC への会議 開催 提案 TLX の作成を指示.
  - ・会社の定期健康診断: (6 月実施に, 海外出張のため, 受検できず, 延期).
  - ・部 打合せ: (16:15~17:15), 幹部会議の模様など.
- 8 日  
(火)
- ・ケーブル船に関する現状, 動向の presentation 資料(常務会用)について考察.
- 9 日  
(水)
- ・校成病院, 胃カメラによる検査. (午前)
  - ・午後 出社.
  - ・NASC 取締役 選任後の登記のため, 取締役会議議事録に押印.
  - ・志村常務に諸案件の報告等.
    1. 光海底ケーブルの“NTT/ATT 共同開発”に関する新聞記事に対する ATT Mr. Tuttle からの問い合わせ: 技計部に処理を委託, NTT への問合せ等.
    2. 沖一合ケーブル保守会議.  
日韓ケーブル布設工事のスケジュール(8/4~8/15)を考慮し, 8/20~8/22 とすることで, ITDC と協議を進める: 了承を得.
    3. Cable Ship Captain 会議, (9 月 8 日から, 英国サザンプトンの予定).  
吉田船長に, 木下次長を同行させる: 了承を得.
    4. ケーブル船に関する動向についての常務会報告.  
7 月 17 日の常務会は議題満杯, とのこと. 7/24 日で進めざるを得ない.
    5. ケーブル委員会.  
小委の委員長は部長とし, 構成も妥当なものとする. 一了. 委員会の新しい構成の事案決定も近いようなので, それに併せて決定したらよい.
    6. NK 合同委.  
役員改選も終わったので, 首席委員, 委員を確定し, 専門委, 幹事は組織改正後の変更もあり得ることを含んで, 事案決定し, NTT へ通知する.  
本件については, 宮副社長にも説明, 了承をとる.
- 10 日  
(木)
- ・“シンガポール訪問の報告, 写真”をまとめ, 部内回覧に廻す.
  - ・NK 合同委員会の KDD 側委員変更の事案決定.
- 11 日  
(金)
- ・幹部会議. (10:00~12:00)
    - ・社長, 児島常務出席, 経営問題委員会の運営など.
  - ・海底ケーブル委員会, ケーブル船小委員会 第 4 回会合. (15:00~17:00).
    - ・KDD, ATT 作業部会第 2 回会合の対処方針について.
  - ・江幡, 畠山君と, 懇談.

- 12 日 出社  
(土) ・ ケーブル船の情勢についての常務会資料の作成を進める。
- 14 日  
(月) ・ 常務、部室長、連絡打合せ。(9:30～10:30)  
・ 組織、機構の改正について。  
・ DGT. K. P. Lian 局長(台湾)ほか、Huan ITA 局長, S. C. Chong(副技師長)氏ら 来訪。  
NASC との懇談, 昼食(11:15～13:30)  
・ 海底線部, 打合せ。(16:00～17:00)  
・ 日韓ケーブル布設工事への参加者の激励壮行会:(新宿会館)。
- 15 日  
(火) ・ 常務会報告資料“ケーブル船に関する最近の情勢 及び 課題”の原稿作成。  
・ 保全部長と, 前記資料について意見交換。  
・ 研究所 天野次長, 山本電子回路研究室長, 新納主任研究員 来訪。(16:30～17:00)  
先般訪米し, BTL にて光海底ケーブル方式について討議を行ってきた状況の報告。  
・ KDD 会長, 社長招待による 関連会社/KDD 懇談会(32F)
- 16 日  
(水) ・ 午後, 早退。佼成病院にて, 胃カメラ検診の結果聴取。(16:00～ )  
・ 三信工業 樽松さんより Tel. OLU 修理用ケーブルの耐磨材使用について。
- 17 日  
(木) ・ 志村常務と協議, 1. ケーブル船の情勢の常務会報告が, 常務会の審議案件多数のため, 早急には困難である状況から, 社長の意向をきいて別途説明するかどうか決める。2. 海底ケーブル委の開催については, 7 月 28 日頃, 各委員会の委員改変が常務会にできる(総務部より)ので, そのあとできるだけ早い時期とする。  
以上を, 武田業務課長, 保全部長に伝える。  
・ 保全部長と, ケーブル船に関し, NTT との mutual aid の取決めの必要性について意見交換。  
現在, 表向き明確でない, 明確化を NTT が望むかどうか, とくに外国と KDD 間の取決めに NTT の名前がでることは好まないのではないか。  
・ NASC 古橋社長の, 日韓ケーブル機材積込み, (KDD 丸, 横浜), 及び, ケーブル陸揚工事の視察スケジュールの arrange。(浜田)  
・ KEC 図書英文化のための原稿(第Ⅱ.Ⅳ編, )チェック。
- 18 日  
(金) ・ 幹部会議(10:00～12:00)。  
福地常務 出席, 組織改正の基本方針など。  
・ ケーブル船に関する ATT/KDD 作業部会の準備。  
・ 猪股, 武田 両課長に組織改正について非公式に状況を説明。(新分掌検討のため)。
- 19 日  
(土) ・ 出社。  
ATT/KDD 作業部会会合の準備。
- 20 日  
(日) ・ 東北大 電通 21 会 ゴルフ, コンペ。(つくばね)
- 21 日  
(月) ・ ケーブル船に関する ATT/KDD 作業部会 第 2 回会合 開催。  
KDD 新宿会館にて, ATT. Messrs. McCullough, Meierdiercks, Roe 来日。  
・ 夜, 笹本常務 招宴, 志村常務同席。(北京大飯店)
- 22 日(火)～23 日(水)  
同上会議に出席。
- 24 日 ・ 会議の状況とポイントを石川保全部長と共に志村常務に報告。

- (木) ・ 会議ミニッツの確認, (11:30~17:00)新宿会館にて.  
・ 組織改正に伴う, 海底線部関係の所掌の見直し案を, 木下, 猪股君と作成.  
・ 夜, OCC との懇親会, (OCC 主催). KDD ビル, 32F にて.
- 25 日  
(金) ・ 幹部会議. (10:00~11:15).  
志村常務 出席.  
・ 組織改正に関連する, 人事について, 総務部 湯本副参事に状況をきく.  
・ 当面の人事, (とくに技術2課長), 及び, 明年以降の人事の基準構想について志村常務に説明.  
※. 日韓ケーブル建設完了後, 海底線関係の業務, 組織を再検討するが, 今後の光海底ケーブルの研究開発の推進のため, 海底線部から人材を研究所に送込むことも得策と思われる.  
・ NEC, 田畑氏より Tel. : 光レーザーの製造に際し, NTT, KDD の開発をどう織り込むか, 技術計画部に相談するよう advise.
- 26 日  
(土) ・ 出社.
- 28 日  
(月) ・ 志村常務, 担当室部長 連絡打合せ. (10:00~11:20)  
・ 部 打合せ : (16:30~17:10).  
組織改正, 日韓ケーブル関係, 海底ケーブル委員会など.
- 29 日  
(火) ・ 海底ケーブル委員会の準備, 小委員会委員長以下の構成案について, 業務課長と協議.  
・ ケーブル船に関する ATT/KDD 作業部会報告について 江幡君と討議.
- 30 日  
(水) ・ 7 月 29 日の常務会で, 海底ケーブル委員会の委員長, 副委員長は従来通りとなり, 委員は委員長から委嘱し, その手続きをとるため, 委員長の意向をきく, 同時に, 各小委の委員長以下の構成についても, 指示を受け, 総務部に連絡.  
・ KDD 丸 日韓ケーブルの布設のため, 横浜出港, 朝 7 時, 見送りに行く.
- 31 日  
(木) ・ ケーブル委員会の準備.  
・ 成田部長より, 人事について相談あり.  
・ GNTC Mr. Larsen. 石川保全部長を家に招待.
- 8 月**
- 1 日  
(金) ・ 幹部会議. 10:00~12:00.  
・ 新組織における, 海底線 技術部長の内内命あり.  
・ 海底ケーブル委員会(第 24 回) : 14:00~17:30.
- 2 日  
(土) 休み.  
・ 人事問題で志村常務より, Tel, あり.
- 4 日  
(月) ・ 役員, 室部長 打合せ. (10:00~11:20).  
・ INTELCOM-'80 CONFERENCE について 研究所, 技計へ紹介.  
・ 石川保全部長と, 人事問題の協議.  
・ ケーブル船小委の開催について, 江幡君と協議.
- 5 日  
(火) ・ 異常気象の影響か, 日韓ケーブルの韓国側陸揚工事のスタート切れず, 風波強く, KDD 丸は待機.  
・ ケーブル船小委の準備.  
・ Los Angeles INTELCOM-80 への参加について検討.

- 6 日 ・韓国側海象不良のため、KDD 丸更に待機。  
(水) ・海底ケーブル委、ケーブル船小委(第5回)開催。(14:00~18:15)  
今次会合より委員長を努める。  
・終了後、江幡君、湯口君、徳江施設課長らと懇談。
- 7 日 ・韓国側海象不良のため、待機。  
(木) ・INTELCOM-80 への投稿について、研究所、技術計画部はなしとのことで、海底線からの寄  
与文書について湯口君と協議
- 8 日 ・日韓ケーブルの布設工事、海象不良のため、天気待ち。  
(金) ・幹部会議 なし。  
・INTELCOM-80 への出席を、志村常務より指示される。  
・Mr. Dawidzink への TLX 案を検討。
- 9 日 ・出社。  
(土) ・浜田国際中継所、松本所長に Tel.  
・8月11日(月)に NASC 古橋社長との会食に参加を依頼される。  
・〃 12日(火)国際記者クラブのケーブル局訪問時の説明応待を頼まれる。
- 10 日 ・浜田 出張。  
(日) 日韓ケーブル布設工事に伴う、浜田側ケーブル陸揚工事の視察、等のため。
- 11 日 ・浜田 海上保安部、NTT 浜田報話局にあいさつ。  
(月) ・NASC 古橋社長と会食。(有福、国際グランドホテル)
- 12 日 ・国際記者クラブに応待。  
(火)
- 14 日 ・KDD 丸 浜田港へ、港内で錨泊中の KDD 丸を訪問。  
(木) MOC 代表下船、夜 会食。  
白扇旅館に、志村常務を訪問。
- 15 日 ・広島経由で帰着。  
(金)
- 16 日 ・出社。  
(土) 浜田側陸揚、天候不良のため、延期。
- 18 日 ・笹本常務の命で、海底線部 副参事クラスの 新組織への異動の内内命。  
(月) ・武田(業務計画部 第1課長へ)、猪股(海・技・1課長)。  
・畠山(海技2課長)、杉本(海建部付へ)、江幡(海技部付)。  
・INTELCOM-80 の原稿準ビ。  
・東北大 佐藤利三郎、星子 両教授、中込氏のもとへ、学術会議の件で来訪。
- 19 日 ・沖台ケーブル保守会議 出席のため、台北へ出張(NASC 役員として)。  
(火)

\*8/20~8/22, 台北, ITA 会議室にて, 会議。

8/22~8/23, 花蓮より, 頭城 陸揚局 訪問。



- 8/24 東京へ帰着.  
(日)
- 25 日  
(月)
- ・ 帰着あいさつ, 志村常務, NASC 古橋社長.
  - ・ 役員・部 室長連絡打合せ. (10:00~11:45)
  - ・ 9月1日付異動の内示. 次・課長, 副参事, 調査役, 課補佐, 主任, 一般...
  - ・ ケーブル船に関する検討状況, 江幡君より報告あり, (常務会への報告資料, 船小委の準備等.)
  - ・ INTELCOM-80. (Los Angeles)への対応準備状況, 湯口君より報告あり.
- 26 日  
(火)
- ・ 台北出張旅費の精算処理. (NASC 園田 補佐).
  - ・ INTELCOM-80. 提出 paper の synopsis 発送.
  - ・ 網管部成田部長に, 当部へ異動することとなった高橋(敏)君について, きく.
- 27 日  
(水)
- ・ ケーブル船に関する検討状況を江幡君より聞く.
  - ・ 業務課, 武田, 加瀬, 増田の3君が近く異動で他へ転出するので, 慰労, 送別の招宴. (盧山).
- 28 日  
(木)
- ・ 富士通 室井氏より Tel.  
タイーシンガポールケーブルの最近の動静について.
  - ・ マレーシアも参加の動きがでてきて, バンコクで三国間の代表が話し合う
  - ・ NEC と協議の結果, FJT が prime となる.
  - ・ 9月に Tender Invitation, 2ヶ月で決める.
  - ・ 常務会にて, ケーブル船に関する情勢報告が志村常務よりなされたが, 時間が短く, ほんの概要に留まったとのこと.
- 29 日  
(金)
- ・ 幹部会議(10:00~ ).
  - ・ 昨日, 常務会へ提出の, ケーブル船に関する情勢について報告.
  - ・ ケーブル船小委員会. (14:00~17:00)
  - ・ ATT との WG/3 については, 1ヶ月程延ばすこととする.
- 30 日  
(土)
- ・ 出社. INTELCOM-80 への contribution 作成を進める.
- 9 月**
- 1 日  
(月)
- ・ 組 織 改 正: 海底線技術部 となる. 第1課, 第2課の構成.
  - ・ 辞 令 交 付: 次長, 江幡副参事, 水野君(第2課 配属), 増田君(国際機構部へ異動).
  - ・ 人事異動により, 旧 業務課, 武田, 加瀬, 増田君ら他へ異動.  
旧 保全部より, 山本, 松崎君, 配属.  
旧 回網部より, 高橋(敏)配属.  
杉本君, 建設部へ異動.
  - ・ 部内, 新管理者で 打合せ: 新分掌, 業務の分担 等. (13:45~14:50).
  - ・ 役員, 部長間連絡打合せ. (15:00~18:00).  
技術 計画の導入, 推進に関し, 討議.
- 2 日  
(火)
- ・ NASC 社長, KCS 役員に, 組織変更に伴ない, 保全業務の所掌を扱うこととなったので, あいさつ.
  - ・ 石川 元保全部長と引継打合せ.
  - ・ 旧 業務課 課長以下に対し 志村常務の歓送会食に同席.

- 3 日 ・海底ケーブル委，技術小委員会会合に出席。(14:00～16:00).  
(水) (委員長：技計部長)：新技術開発上のケーブル船建造に対する意義等の討議.
- 4 日 ・早川運輸 社長，常ムら来訪。(10:00～ ).  
(木) ケーブル保守業務が保全部より移管されたことに伴い，横浜での予備機材の保管等に関係の深い同社首脳が挨拶にきたもの.  
・富士通 室井氏ほか，伊藤忠 菊野氏と共に，ASEAN T-M-S の状況説明に来社。(主管，海協部)(15:00～16:00)  
・牧野顧問来訪.  
・組織変更による人事異動に対する，歓送迎会(送，4，迎4，)(今伝..)
- 5 日 ・幹部会議 中止.  
(金) ・午前常務会，午後，Att. Messrs. Nicholes, Pappert 来社。(HAW-4 について)
- 6 日 ・出社.  
(土) INELCOM-80 原稿書き.
- 8 日 ・役員・部長間打合せ。(10:00～11:40).  
(月) ・常務会(9/5)の様様，など.  
・部内打合せ。(16:30～17:45).  
・技術1，2課の当面の問題など.
- 9 日 ・海技2課と，ケーブル保全関係で，海外国通信企業との連絡調整を今後どう改めるかの協  
(火) 議。(10:00～11:00)  
・技2課，高橋副参事に対する常務招宴，(12:00～13:15).
- 10 日 ・田畑氏より TEL.  
(水) ・Penang- Medan ケーブルの Tender 発出が近そうである.  
・ANZCAN については，NF IS～NZ 間(5MHz 方式)のみを狙う.
- 11 日 ・人事部長，次長，：56年度採用技術系学卒の募集に，経営工学等，電気，通信，電子以  
(木) 外の学部からの募集を加えるかどうか，技術系部長の意見と求められる.
- 12 日 ・幹部会議。(10:00～11:30).  
(金) ・苓北中継所 高須所長より Tel：志村常務の国会通信委員の視察案内について.
- 13 日 休み.  
(土)
- 16 日 ・INELCOM: '80 英語原稿の作成を進める.  
(火) ・ケーブル船小委員会資料の検討.  
・(志村常務，9/16～9/18，苓北，参院通信委員 案内).
- 17 日 ・ケーブル船小委員会，(第7回会合)を主宰。(14:00～17:00).  
(水) ・INELCOM '80 英訳原稿の check.  
・中村夫人に Tel.
- 18 日 ・22号長計 作成方針の説明打合せ，(総計部 主催).  
(木) 木下次長，猪股課長に出てもらふ.  
・三洋電気 開発研究所長 矢川豊氏 より Tel.  
光磁気メモリについて研究所で話をききたいので紹介してほしい.



研究所 太田室長(材料部品研)に連絡し、次週訪問のこととする。

- 19 日 (金)
- ・横浜税関に監視部長を訪問し、異動、組織改正のあいさつに行く予定のところ、先方より不都合とのことで、追ってのこととする。
  - ・幹部会議 なし。
  - ・志村常務に、ケーブル船小委の関係を報告。
    - ・長計 22 号の作成に関し、ケーブル計画については、総計部(通信網計画課主管)に技術的面から協力する。技計部とも協議する。
  - ・夜、江幡、湯口、山本 君らと、懇談。(ギルド)。
- 20 日 (土)
- 休み。
- 22 日 (月)
- ・役員・部長間打合せ(10:00~12:00)。
  - ・技術開発体制・技術要員計画等について討議
  - ・海技部、部内打合せ。(15:00~16:30)
    - ・長計 22 号ケーブル関係計画の作成について、: vision を画くこと。
- 23 日 (火)
- 祝日。(秋分の日)。
- 24 日 (水)
- ・6:30 荅北中継所 高須所長より Tel. あり。
  - ・今朝 6:15 日中ケーブル障害発生。(第 4 次、本年 3 回目)。
    - ・障害箇所は R26~R28。
  - ・以上、志村常務宅に通報。
  - 高橋副参事、木下次長 それぞれの自宅に Tel. 連絡。
  - ・非常障害対策東京本部活動開始。(9:30~)。
  - ・障害対策センター長 会議(支社 運用部 主催)、10:30~11:30。
  - ・SPT. 張徳忠 電信処長に写真電報 発信。
  - ・庶務部 上原次長に 部付堀越 副参事の応援を依頼。
  - ・堀越氏より 張徳忠氏に Tel. してもらう。
  - ・KCS(二瓶 課長)と、日中ケーブル障害復旧修理に備えての打合せ。
    1. 接続訓練のため、シンガポールに派遣中の jointer については、中国からの返事が来た時、即応できるようにしておく。
    2. 必要機材の準備を進めておく。
    3. 中国から KDD 丸出動要請があったら、直ちに、復旧センタ長主催で関係部門間の打合せを開く。
- 25 日 (木)
- ・研究所訪問、(9:30~15:00)
    - ・寺村副所長と会談。
      - (1) INELCOM-80 に研究所から傍聴者の派遣を suggest 方。
      - (2) 日中ケーブル障害修理の際の協力依頼。(機材の使用、専門家の応援)。
      - (3) 仏・PTT/KDD 技術者交換覚書により、10 月 23 日~12 月 23 日、仏 CNET より 1 名来日の受入れ協力について、研究所より海技部に要望あり。(海底ケーブル専門家)。
  - ・三洋電気 開発研究所長 矢川 取締役を紹介し、光磁気メモリの研究開発状況を資材部品研究室でみる。(太田室長、今村主任研究員)。
  - ・有シ研・電子回路研で、光海底ケーブルに関する研究状況をみる。
- 26 日 (金)
- ・幹部会議なし
  - ・海底ケーブルの障害時における、障害復旧センターの任務随行のための対応について、部内打合せ:(情報の授受、処理の方法等)。(10:00~11:00)。

- ・ NEC 田畑氏 来訪：(13:00～14:00).
  - ・ Penang-Medang ケーブルについて，tender invitation が近く発.
- 27 日 (土)
  - ・ 光海底ケーブル方式の開発に対する NTT の協力の必要性と，これを沖一本ケーブルの建設関連づける問題について，志村常務と討議.
- 29 日 (月)
  - ・ 役員・部長 連絡打合せ(10:00～12:00) 志村常務室.
  - ・ 広報室長より，「日中ケーブルの Fault No. 5. (R24-R25 間)の発生について」郵政記者クラブへ発表するので，志村常務の出席をお願いしたいとの話しあり，木下次長が同行することとなる.
  - ・ 日中ケーブルの第 5 回障害の発生に伴ない，障害復旧センタの会合を開く準備を 2 課長に指示.
  - ・ KCS の昼食招待に出席：志村，笹本 両常務，石川，亀田 両部長.  
KCS 木村社長 以下 役員.
- 30 日 (火)
  - ・ 東北大松尾教授 医用電子国際学会 出席のため，上京中とのことで，会場の京王プラザホテルで会い，懇談。(12:30～13:15).
  - ・ 障害復旧センター会議を主宰。(13:40～15:15)  
海技，海建，KCS，研究所，支社 保全部 関係者で，障害の現況，修理の方針，今後の対策を協議.
  - ・ 郵政省の求めにより，海上保安庁と郵政省の協議に協力のため，木下次長を派遣 参加させる。(午前中.)
  - ・ 通信非常障害対策本部 会議に出席。(15:30～17:00)
    - ・ 今後の措置の方針について常務会へ諮ることとなる.
  - ・ 中国側より，張徳忠 氏 名で TLX 来る.
    - ・ KDD 丸の出動要請と，会議開催の提案.
- 10 月**
- 1 日 (水)
  - ・ OTC(A) Mr. Tuckwell の KDD 訪問に際し，ANZCAN の説明等の会合に出席を求められていたが，多忙なので国際部沢木次長に了解を得て欠席.
  - ・ 海底ケーブル委員会(第 5 回)会合(14:00～16:00)
    - ・ ケーブル船に関する ATT/KDD 会合(第 3 回 作業部会)の対処方針.
    - ・ 55 年度技術開発項目.
  - ・ 非障対策本部長(福地常務)のところで，常務会資料案の作成について協議.
- 2 日 (木)
  - ・ 日中ケーブル 第 3 回 特別会議への参加派遣者の人選について，海建部 織間部長と木下次長に協議.
  - ・ OCC 斎脇氏 来訪。(11:00～， )：タイ PTD への映画フィルム の寄贈について：書信を依頼する。(I-S ケーブル開通式の時，宮川社長に PTD Suchart 長官より，ケーブルの operation について知識を得たいとの意向が伝えられた)
  - ・ 日中ケーブル障害復旧対策についての常務会審議に，福地常務(非障対策本部長)の指示で陪席。(14:45～15:05)
  - ・ 総務部 大矢副参事より.  
日中ケーブル障害について，通信委で質問が出ることが予想されるので，答弁案をつくっておきたいとの話しあり，協力するが，今少し事態が進まないと，資料も整え難いので，考えておく旨，返答.
  - ・ 木下次長，郵政省で，電気通信政策局長の記者会見に，技術室の依頼を受けた KDD 広報室からの求めにより同席.
- 3 日 (金)
  - ・ MPT. 電政局長が，日中ケーブルの修理工法について，聞きたいとのことで，志村常務，織間部長，木下次長が赴く。(15:00～ ).

- ・幹部会議. (10:00~12:00)  
日中ケーブルの障害対策についての常務会審議状況を紹介.
  - ・新技術開発委員会 (15:30~17:45).
  - ・川鍋 総計部長に, 長計 22 号に関するケーブル計画案の検討をケーブル委計画小委員会で行うようにとの志村常務の意向を伝える. 10 月中に行うように要請する.
  - ・日中ケーブル 第 3 回特別会議への派遣者, 会合期間, KDD 丸出港等の予定を SPT へ通知する事案の処理, を進める.
  - ・WUI よりの招宴は欠席.
- 4 日  
(土)
- ・出社.
- 6 日  
(月)
- ・役員・部長 連絡打合せ (10:00~11:30)  
長計 22 号作成関連, 新技術開発委員会関連, 日中ケーブル障害対策関連.
  - ・九州電力との打合せ. (13:30~15:30).  
苓北に建設予定の火力発電所への石炭運搬のため, 九電が計画している築港の再検討案について, 九電側より説明を受ける. 九電側前田課長 主催. 支社保全部, (白井, 袖山, 武笠, 伊藤), 海技 高橋, 山本.
  - ・部内打合せ. (15:40~16:40)
    - ・22 号長計に関するケーブル計画案作成について.
    - ・日中ケーブル障害復旧対策.
- 7 日  
(火)
- ・苓北中継所 高須所長より Tel.
    - ・日中ケーブル障害修理時の, 連絡, 作業体制, 等を協議確認.
    - ・本社よりの派遣要員は, 苓北中継所長の指揮下に入る.
  - ・NASC 古橋社長に, 現況を報告し, 次週の ATT/KDD ケーブル船作業部会会合出席のための米国出張についての了承を得る.
  - ・長計 22 号ケーブル計画案に対する海底線技術部の資料作成について打合せ, 嶋谷, 大原君にも参加してもらう. (木下, 高橋, 江幡, 畠山, 湯口, 矢口).
- 8 日  
(水)
- ・日中ケーブル保守の特別会議に対する関係部門間打合せ (10:15~11:30)  
海技, 海建, 研, 支社保全, KCS
  - ・OCC 斎脇氏. タイ PTD からの海底ケーブル関連映画フィルムの希望に対し, KDD への配慮依頼の文書持参.
  - ・日中ケーブル障害修理における体制等について労組へ説明. (1:30~2:00)
  - ・光海底ケーブルの開発における NTT との問題について協議打合せ. (2:00~3:30).
    - ・志村, 中込, 天野, 新納, : 一先ず, NTT へ, 今後の協力の是非について, 協議の場をつくることを打診する.
  - ・光海底ケーブルの布設, 修理工法について, 開発の進め方を研究所 天野, 新納両氏と討議.
  - ・海底線技術部, 懇親会 (新宿会館).
- 9 日  
(木)
- ・OCC より依頼のタイ PTD への映画フィルムの提供について, 海外協力部 三宅部長に措置を依頼, OCC 斎脇氏との contact についても必要あればとってもらう.
  - ・ブラジルより来訪のジャーナリスト シケイラ氏への海底ケーブル関連の動向, 技術問題等の説明. (広報室より依頼) : 昼食 12:30~13:00, 説明 13:00~15:00.
  - ・ケーブル船に関する ATT/KDD 作業部会 第 3 回会合 出席者間打合せ. (15:15~17:00)  
江幡, 皆谷, 中川.
- 10 日  
(金)
- ・体育の日. (祝日)

- 11 日 ・ 出社.  
(土) ケーブル船に関する ATT との会合に出席のための準備.  
・ 海老沼さんの結婚式に出席.
- 12 日 ケーブル船に関する ATT との会合に出席のため、米国出張.  
(日) 10 月 12 日～10 月 19 日、江幡、皆谷(国際部)、中川(経理部) 君ら同行.  
12 日(日)東京発、ニューヨーク着.  
13 日(月)コロンブスデーで休日。夕刻、Morris town へ.  
14 日～16 日、Morris town Inn で会合.  
17 日(金) 会合 Minutes 確認：  
Morris Plain の ATT OFFICE 訪問、Nichols 副社長、Tuttle 氏 表敬.  
夕刻、New York へ 志村常務へ、Tel で概況報告.  
18 日(土) New York JFK 空港 発.  
19 日(日) 成田 帰着.
- 20 日 ・ 役員・部長 連絡打合せ(10:00～11:30)  
(月) ・ KDD/ATT ケーブル船 WG/3 の要旨報告.  
・ NASC 古橋社長へ帰着あいさつ.  
・ 東京支社、へ帰国あいさつ.  
・ 上海、木下次長より、日中ケーブル特別会議の模様について、Tel. あり.  
・ 猪股課長、高橋副参事、山本第 2 課補佐から、出張中の処理事項について報告あり.
- 21 日 ・ 東京支社長 福地常務に 帰国あいさつ.  
(火) 日中ケーブル修理の模様を報告.  
・ NEC 鈴木(欽)氏来訪.  
シンガポール～インドネシアケーブルの埋設部分障害について、詳報をきく。又、その修理について、意見交換.  
・ 長計 22 号のケーブル計画案について、猪股課長から報告をうける.
- 22 日 ・ ケーブル船 WG/3 の報告作成について、出席者で打合せ。(10:00～11:00)  
(水) (江幡、皆谷、中川)  
以後の、船小委、ケーブル委、等の予定についても協ギ.  
・ 日中ケーブル特別会議の模様について、出席者(織間、木下、湯口)からきく.  
・ 長計 22 号のケーブル計画案について、部内打合せ。(15:00～16:00).
- 23 日 ・ 海協部 金子調査役より、タイ PTD への映画フィルムの提供に関し、「海底ケーブル通信」  
(木) を近く赴任する飯田(大四朗)所長が持参するよう取運ばれ、OCC 斎脇氏にも連絡ずみの旨、状況報告あり.  
・ 川鍋 総計部長と電話で計画小委について debate.  
・ 電信電話記念日の公社招宴に出席(14:00～15:00).  
・ 志村常務より、KDD 増田社長と NTT 北原副総裁間の会談模様について、話しあり、(16:35～17:15). 沖本ケーブルならびに光ケーブルの開発に関して。(大山技計部長と共に).
- 24 日 ・ 幹部会議.  
(金) ・ 長計 22 号のケーブル計画に関し、総計部へ送付すべき資料について部内で検討打合せ.
- 25 日 ・ 出社.  
(土) 「こんにちわ誌」への原稿、INTELCO M '80 の講演用 OHP 原図作成.
- 26 日 ・ 14:00～16:00、会社にて、江幡君と ATT/KDD WG3 の報告書作成の協議.  
(日)

- 27 日 ・役員・部長 定例連絡打合せ。(10:00~12:30)  
(月) ・OCC 斎脇氏に Tel. タイ PTD への映画フィルムの寄贈の件の処理について連絡。
- 28 日 ・三井大阪商船 横浜支店 前田支店長, 森田業ム課長, 来訪(観世氏同行).  
(火) あいさつ, 並びに 横浜港の整備計画の状況説明。(9:20~9:45).  
・志村常務に, 長計 22 号のケーブル計画に関する海技部作成資料を説明。(10:00~12:00)  
・ケーブル船小委員会, (第 8 回)を主宰, (14:00~16:30).  
ATT/KDD WG3 の報告。
- 29 日 ・光ケーブル開発に関する NTT との協力問題についての打合会合(技計部 主催)(10:00~  
(水) 12:00).  
・日中ケーブル障害 F.4, F.5 の修理作業完了. 最終接続, 最終投入に, 本社にて立会う。
- 30 日 ・非常障害対策本部センター長会議 開催, (支社 主催)10:00~12:00.  
(木) 障害復旧センタより, 修理工事の経過説明.  
・郵政省 電気通信政策局 技術室 松尾室長に, 修理完了の報告.  
東支社 運用部 十二次長とともに行く. 13:30~14:00.  
・同友会 懇親会(16:00~18:00)に出席中, 日中ケーブルに再度障害発生 直ちに, 非常障  
害対策本部の緊急会議, SPT に緊急連絡をとり, 長崎に帰投中の KDD 丸を, 修理のため回航  
させる.  
・ケーブル船の ATT/KDD WG-3 の報告をケーブル委にて行うため, 志村常務と事前協議.  
(18:30~ ).
- 31 日 ・幹部会 なし.  
(金) ・KDD 丸の回航に対し, 組合より説明を求められ, とくに乗員の健康については, 船に検診  
を行うよう要請することを約す。(10:00~10:15)  
・SPT と電話連絡にて, 修理後のケーブルの警戒, 保護について協議.  
・夕刻 SPT より郵電 1 号を出動させ, patrol に当るとの返あり.  
・海底ケーブル委員会: 14:00~15:30.  
・深夜帰宅。
- 11 月**
- 1 日 ・出社.  
(土) SPT へ, ship patrol に関し, Telex. 打電.  
・支社長と, 日中ケーブル修理に関し打合せ。
- 2 日(日)~3 日(月)(文化の日)  
出社.  
午後 9:41 最終投入  
日中ケーブル障害修理復旧センターにて. 今後のケーブル保護について, 関係方面と協議.  
郵電 1 号, 可変ピッチプロペラの故障で, また問題が起きる. 庶務部 堀越副参事を煩わし,  
SPT と, 郵電 1 号に代る船の派遣について意向をきくと共に, 日本からも別途臨時に船を出す  
ことを検討。
- 4 日 ・郵政省 松尾 技術室長より Tel. (10:30~ )  
(火) 訪日中の中国郵電部代表が MPT へ 11 月 7 日に表敬訪問する. その時先般上海で行われた特  
別会議で, MPT-北京郵電部代表間で協議した事項(海へヒコーキを飛ばす件等)について,  
何らかの話がでるかどうかが, 中国側の意向・感触を把んでほしい: 了.  
・KDD 丸より, 中国船 Ocean TAG 徳平が 9:30 現地へ到着とのことで, 直ちに, 協議し, その  
状況を報告するよう指示。

- ・非常障害対策センター長会議：(14:00～ )。
  - ・KDD 丸 15:00 現場を離れて、長崎へ向う。
- 5 日  
(水)
- ・志村常務より。
    1. 昨夜、中国郵電部訪日団への社長招宴で、ケーブル保護に関する、先の郵政省との協議(10月、上海、KDD/SPT 特別会議にて)についてのその後の検討状況をきいたが、
      - ・李団長、<sup>ママ</sup>超副団長、劉平源氏ら幹部は、上海の会議については報告を受け、きいている。しかし、(航空機を出すことは)、各方面との協議のうえ、よく検討する要あり、まだ結論が出てないので、今回この問題を中国側から持ち出す準備がないので、話しを出すつもりはない。
 旨の返事であった。
    2. 今後の保護対策について、明日からの個別会議で説明・協議したらよい。
      1. については、郵政省電政局 松尾技術室長に直ちに伝える。
      2. については、国際部、総計部と協議の結果、6日9:00～10:00に行なうこととなる。
  - ・技計部、研究所と、光海底ケーブルの開発における NTT への協力依頼の道を開くための協議。(9:45～11:00)
  - ・長崎港着の KDD 丸出迎えの木下次長より TEL。
    - ・海上保安庁 第7管区の保官が、ケーブルにからんで上った漁網を、証拠物品として、押収したいとしているがどうするか。
    - 支社 運用部 十二次長と連絡し、海上保安庁 本庁へ、KDD は調査、原因究明のため、もち帰りたい旨の協議をしてもらう。
    - ・結局、海上保安庁が押収したあと、KDD が預る形をとることとなる。
- ※長計 22 号、海底ケーブル関係の計画の協議のための総企会は都合で 延期。
- 6 日  
(木)
- ・中国郵電部/KDD 会合において、「日中ケーブルの障害修理経過と今後の保護対策」について説明、協議(9:00～10:10)
  - ・新技術開発委員会：14:00～16:00。
  - ・ケーブル船に関する、ATT/KDD WG-3 の報告を増田社長に行う。
- 7 日  
(金)
- ・日韓ケーブル会議(第9回)会合へ出席、司会。 10:00～17:00。  
9:30～ あいさつ。 10:00 開会  
昼食 Mövenpick  
17:00：閉会。
  - ・夜、副社長招宴：欠席。
  - ・日中ケーブルの修理、KDD 丸の出迎え、長崎での漁状調査等について、帰社した、畠山、木下両君からきく。
- 8 日  
(土)
- ・午前 出社。
  - ・INTELCOM-80(LOS ANGELES)に出席のため、米国へ出張。  
\*11月8日～11月16日、ロサンゼルス。  
11月10日～13日：Conference。  
14日, San Luis Obispo 訪問。  
15日, Lv. Los Angeles。  
16日, Ar. Tokyo。
- 17 日  
(月)
- ・木下次長、より出張中の処理事項について報告を受ける。
    - ・22号長計、ケーブル計画について、海底ケーブル委員会で、審議されることとなる。
    - ・日韓ケーブル会議、終了。
    - ・日中ケーブル、その後異常なし。
  - ・志村常務に出張報告。
  - ・江幡君と、ケーブル船に関し、その基本方針のまとめ方について討議。



- ・ 訪日中の中国郵電部代表団の KDD 幹部招宴(“維新号”)に出席.
- 18 日  
(火) ・ KDD 丸(横浜)に行き, 日中ケーブルの被傷ケーブル, 引揚げた漁網など見る. 猪股, 湯口  
両君同行.
- 19 日  
(水) ・ 富士通 磯部, 小野両氏来訪. (10:00~10:30)  
T-M-S(ASEAN)ケーブルの応札に当り, KDD 丸の使用を前提とすることの了解を得たいとのこ  
と: 検討を約す.  
・ NEC 田畑氏 来訪(16:30~17:30).  
ANZCAN ケーブル E 区間(Norfolk Is - Auckland)の応札に当り, KDD 丸を使用すること  
を前提としたい, とのこと: 検討を約す.
- 20 日  
(木) ・ ケーブル船 小委員会.  
ATT との WG/4 対処方針.
- 21 日  
(金) ・ 海底ケーブル委, 計画小委員会.  
・ 労組との交渉の最終段階で, 役員 居残り.  
・ 海底ケーブル委員会の資料 ケーブル船建造の基本方針で, 志村常務と深夜まで討議.
- 22 日  
(土) ・ 研究所 ゴルフコンペ 欠席.  
出社し, 江幡君と, ケーブル船基本方針の資料作成.
- 23 日  
(日) 祝日. 江幡君と自宅で資料検討.
- 24 日  
(月) 祝日代休. //
- 25 日  
(火) ・ 午前 10:00~  
海底ケーブル委員会.
- 26 日  
(水) ・ 07:54 AM. 日中ケーブル障害, F7 発生. R20 ~R21 間.  
・ 障害対策本部 発動. 9:45.  
・ SPT へ電話連絡.  
・ 志村常務: Soeul へ, 日韓ケーブル開通式出席のため.
- 27 日  
(木) ・ 韓国 MOC. Chung 次官, 日韓ケーブル開通式へ出席のため, 来日し, KDD を表敬  
: 会長, 社長, 副社長に列し, 表敬の席に出る. 10:00~10:30.  
昼食, 京王プラザホテル, 南園, に参加.  
・ 松本 常務に, ケーブル船に関する常務会への提議を説明したが, 問題を指摘され, 川鍋部  
長と協議.
- 28 日  
(金) ・ 日韓ケーブル開通式 ホテルオークラ, 韓国・通信次官の接待.  
・ ケーブル船に関する常務会資料について, 川鍋部長に協力を依頼し, 江幡君に資料を作成  
させる.
- 29 日  
(土) ・ 上記資料作成.
- 30 日  
(日) ・ ソウルより帰国(前日)の志村常務宅を訪れ, 常務会資料の協議.

## 12月

- 1日 (月) ・局 所長会議。午前，全体会議。  
午後，個別会議で，海底線技術部所管事項の説明。  
・常務会資料を高仲常務に説明するも，同意得られず。  
・また，副社長も常務会への提出を認めそうもないとのこと。  
・局所長への会長・社長招宴。
- 2日 (火) ・日中ケーブル障害対策について，支社長のところで，協議。  
SPT より会議開催についての TLX。来る。
- 3日 (水) ・副社長に，日中ケーブル障害対策について関係役員懇開催を何うが，関係者で詰めよとの指示で，志村，福地両常務と関係部長を交えた会合を開くこととする。  
・小関君の帰国歓迎，柴田，内山，海外事ム所長を交えて 行う。(新宿会館)。
- 4日 (木) ・HTC. Mr. Schoen に Tel。  
ハワイ訪問時に会う約束をとる。  
・健康診断。  
・日中ケーブル障害対策について，打合せ。  
志村，福地 両常務，関係部で，当面の修理を行わず，日中間特別会議を開くこと，社内の検討体制を固めることを協議。
- 5日 (金) ・幹部会議。  
・午後，二宮出張，漁協とケーブル保護の懇親会，二宮泊。
- 6日 (土) ・グワム出張より帰国の，木下次長と，協議。  
次週の事ム処理について指示。  
1. NEC より依頼の，ANZCAN E 区間への応札に KDD 丸を使うことを前提とすることの文書提出までの処理。  
2. 日中ケーブル障害対策に関する会議について，郵政へ説明し，又，社内処理を進めて，SPT へ TLX を打つ件。
- 7日(日)～15日(月)  
・ケーブル船に関する ATT との作業部会 第 4 回会合に 出席のため，ハワイ(ホノルル)へ出張。  
8日(月) HTC 訪問，Mr. Schoen に光ケーブル方式の動向を説明。  
9日(火)～13日(土)，会議。ヒルトン・ハワイアン・ビレッジ。
- 16日 (火) ・志村常務へ帰国報告。  
・臨時海底ケーブル障害対策協議会の事前打合。  
午前：海技，海建 両部 関係者。  
午後：志村常務に資料説明。
- 17日 (火) ・宮副社長に，海障協 第 1 回会合について，志村常務と事前説明。  
・海底ケーブル障害対策協議会 第 1 回会合。14:00～17:00。
- 18日 (木) ・志村常務に，ケーブル船に関する ATT との作業部会の Interior Report を提出。  
・NEC 鈴木欽也，二宮 氏来訪，夜会食。
- 19日 (金) ・幹部会。  
日高会長出席：



- ・木下次長，高橋副参事に，重要事項に関する相談・協力をして行き，それを技1,2 課にガイドラインとして示してもらい，又，アドバイザーになってもらうようにすることとし，技1, 2 課長にも伝える.
- 20 日 海技部 忘年会，館山 平砂浦ホテル.  
(土) 夕刻 6:00, 日韓ケーブル障害発生の報.  
8:00, 東京へ向け，タクシーで木下，畠山 両君と出発.  
11:15, KDD ビル到着，22F, 東京支社長室にて開かれている対策会議に出席.  
12:10, 会議終了，帰宅.
- 21 日 出社，10:00AM より，海底線関係者で 日韓ケーブル障害に対する技術面の検討.  
(日)
- 22 日 郵政省 電政局 技術室 松尾室長へ，支社運用部 久家室部長らと日韓ケーブルの障害につ  
(月) いて説明.
- 23 日 臨時，海障協第2 回会合の資料作成.  
(火)
- 24 日 臨時海底ケーブル障害対策協議会・第2 回会合，14:00～17:00.  
(水) 日中特別会議，(第4 回)，への対処，及び日韓ケーブル障害について
- 25 日 韓国より，ケーブル障害の早期修理の要請.  
(木)
- 26 日 幹部会.  
(金) NASC，東亜協会代表 ほかを招き会食. 福地常務に状況報告. 富士通 関川氏ほか来訪.
- 27 日 郵政省 電政局長へ，日中ケーブル障害への対応，及び日韓ケーブル障害修理について説明  
(土) のため，志村常務に同行し，郵政省へ. 11:00～.  
午後：対策打合せ.  
Moc. 次官への宮副社長の TLX の起案.
- 29 日 役員・部長打合せ 10:15～11:15.  
(月) 日韓ケーブル障害修理打合せ. 11:30～12:10.  
志村常務，海技，海建，KCS 関係者.  
・漁業協同組合，海上保安庁への連絡，協力依頼など.  
・修理後の非埋設部分の保護.  
年が明けてから，さらに検討する.  
・通研 工務部 総合実験網 研究室長 石田正男氏 (Tel. 0422-59-2453) の苓北，浜田海  
底線中継所，見学訪問の件(1月14 日及び16 日)，両所長とも Ok.
- 31 日 情報連絡担当 斎藤氏より Tel. 14:30,  
SEACOM F(Guam-Hong Kong) の障害について  
本日，04:40 障害発生，  
HK, 9 回線，Kuala Lumpur 1 回線，ほか4 回線，計13 回線は衛星で直ちに復旧，  
13:27 完了.

## 1981 年(昭和 56 年)

## 1 月

- 5 日 (月) ・ 仕事始め.  
32F にて.
- 6 日 (火) ・ 部内打合せ. 9:30~10:30.  
日韓・日中ケーブル障害対策の対応について, 作業処理状況と分担の確認.  
・ OCC 斎脇氏と, 埋設ケーブルの障害原因, 対策に関する調査実験について意見交換.  
・ 日韓・日中ケーブル障害対策の推渉状況, 打合せ, (17:00~19:00)  
・ 志村常務, 海技, 海建, 関係者.
- 7 日 (水) ・ KDD 丸の出航予定が定まったので, MOC へ TLX 発信.  
・ ケーブル船建造に関する社内処理の進め方について志村常務と協議.  
新船建造には, 時間をかけた検討が要る旨を提言.
- 8 日 (木) ・ 常務会にて, 日中ケーブル特別会議(第 4 回)への対処方針が審議され, 了承されたとのこと.  
・ 障害対策本部・センタ長会議. 14:00~16:00.  
・ 日韓ケーブル障害修理について,  
・ 日中ケーブル障害対策のための, 検討状況と, 第 4 回特別会議への対処.  
・ 郵政省 電政局へ, 松尾技術室長を訪ね, (木下次長, 矢島総務課長, 同行).  
・ 日韓・日中の障害対策の推渉状況.  
・ 日中 特別会議への対処方針.  
・ 韓国 MOC 長官へ郵政大臣から, 日中ケーブル保護に対する協力要請の文書を出す件.  
について, 報告及び依頼.
- 9 日 (金) ・ 幹部会議(10:00~12:00).  
・ 日中ケーブル特別会議の日程について, 猪股, 山本君らと協議. 堀越副参事の意見をきき, 宮副社長に報告, 了承を得る.  
・ 郵政, 松尾技術室長より, 郵政局長のコメントを伝えてくる.  
1. 日中間特別会議の重要協議事項(羅障区間のケーブル回収等)については, 事前に概要を伝えておくことが望ましい.  
2. アンコー網の表現は, 鯨鰐を捕まる網との誤解を与えるので, アンコー状とかアンコー形とかの表現にしたらどうか, 特に外部報道関係等には, そうすべきであろう.  
3. 韓国 MOC 長官に対する, 日中ケーブル保護への協力要請の文書を郵政大臣から出してほしい旨は了解した.  
・ 志村常務より, 木下次長への内命の指示. (次長待遇, ソウム事務所長を命ず, 発令は赴任の準備が整い次第.)  
夜, 木下次長へ伝達.
- 10 日 (土) ・ 日韓ケーブル修理のため, KDD 丸 横浜 出港, 8:00.  
見送り後, 出社.
- 12 日 (月) ・ 浜田中継所 松本所長へ Tel, 9:45~.  
日韓ケーブル修理のため KDD 丸出動, 釜山へ測定器の搬送などの状況ならびに通研 石田正男氏の訪問について, 話す.  
・ 役員・部長打合せ. (10:00~12:30).  
・ 堀越副参事に依頼し, SPT へ, 特別会議の協議事項のうち, 重要なものについて, 事前説明.  
(抜本策を立てるには, 時間を経ヒがかかること. 回収の計画と経ヒ, など).  
: SPT, 検討するとのこと.

- ・韓国 MOC へ、修理後の patrol, 修理後のケーブル状況調査, 保守会議の開催について提案の TLX 送付.
- 13 日 (火)
  - ・日中ケーブル特別会議の準備打合せ. 15:00~17:30.
  - ・会議への準備, 状況.
  - ・資料の準備, 内容について打合せ.
  - \*できるだけ, 中国側にも, 実施分担してもらうこと. (漁業調査, 周知, 回収作業).
- 14 日 (水)
  - ・ソウル内山所長へ Tel. 1/12 発信 TLX に対する MOC の反応について, など.
  - ・日韓ケーブル障害復旧センターに応援の, NASC 谷野君と昼食懇談.
  - ・事業計画の組合説明資料, 労厚部へ送付.
  - ・ソウル内山所長より Tel.
    - ・MOC の反応について, 国際係長 金, 保全局 鄭, 金らと会談.
    - ・修理後の patrol, 潜水艇による調査は, 経費の支出について, 困難を伴う(計画外であり, 現在経ヒ支出については査定がきびしい)ので, 保守会議を修理後直ちに開いて協議のうえでないといえられない, とのこと.
    - なお, 釜山への FS 形歪折返試験器の, 通関中の保管料(80,000 ウォン)が MOC には払えない, とのことなので, KDD で立替え, あと, 修理作業の経ヒとして請求し, 折半してもらうこととすればよいと, 回答.
  - ・上記, 志村常務に報告.
  - TLX(MOC からの)をみた上の判断となろうが, 当方としては
    1. 保守会議を早くていつ開けるか. (準ビの都合から).
    2. パトロールはとりあえず KDD で行ない, あとで折半することの了解がとれるか.を検討.
- 15 日 (木)
  - ・祝日. (成人の日)
  - ・ソウル内山所長より Tel.

MOC は, 保守会議の前に, パトロール, 潜水艇による調査はしないとの態度, パトロールも必要ないとの意見, とのこと.

TLX をみて, 本社で検討のうえ, 再度, 要望したいと伝える.
- 16 日 (金)
  - ・日中ケーブル特別会議 関係.
    1. 副社長あいさつ文, 副社長の校閲を受ける.
    2. 会議資料の検討: 猪股, 山本.
    - 日程表の検討: 水野.
    3. 郵政への連絡, 質問の開度など.
- 17 日 (土)
  - ・ケーブル船に関し, 関係役員懇資料を志村常ムに提出.
  - 2 月初めの役員懇を予定し, それまでに関係部長とも協ざしておく.
- 18 日 (日)
  - ・日韓ケーブル修理: プロトン磁力計によるケーブル探索がうまく行かず, 探線を試みたいと KDD 丸より指示を求めてきたので, 志村常務に報告のうえ, 許可する(18 日朝), 出社し, 探線の結果をまったが, 4 回試みて不成功とのこと.
- 19 日 (月)
  - ・幹部会議. 10:00~
  - ・日中ケーブル特別会議 出席の中国側代表団を成田空港に出迎える.

11:30, KDD ビル発, 13:40 成田着, 14:07 着陸.

14:40 頃, バス及び乗用車で一行を新宿京王プラザホテルに送る.
  - ・日韓ケーブル修理: 浜田側ケーブル探線に成功.

- 20 日  
(火) ・ 日中間ケーブル 第4回特別会議 開催 9:30～  
社長表敬 10:30～11:00.  
夜、歓迎夕食会：京王プラザホテル、にて。  
・ 日韓ケーブル修理：KDD 丸荒天待機。
- 21 日  
(水) ・ 日中ケーブル特別会議。  
・ 討議 順調に進む。  
・ 午後、陳団長、張広玉氏、KDD ビル交換機の見学。  
・ 日韓ケーブル修理、後のパトロールについて、MOC 側同意せず、  
志村常務より 李保全局長へ Tel.
- 22 日  
(木) ・ 日中ケーブル特別会議。  
午前、郵政省、松尾 電政局技術室長 参加。  
ケーブル保護問題。  
・ 午後の会議、16:00 で終え。  
事業計画のうちの海底ケーブルの関係を、労組に説明。
- 23 日  
(金) ・ 日中ケーブル特別会議。  
一通り全議題について討議を終える。  
・ 日韓ケーブル修理後のパトロールについて、MOC との話しがこじれたため、織間部長がソウルへ飛び、説明し、打開を図ることとなる。  
・ ケーブル船に関する関係役員懇談会を2月2日午後開くこととなる。
- 24 日  
(土) ・ 中国側代表団の関西旅行に同行。  
9:12 新幹線にて、東京 発。京都 観光、京都 泊、新みやこホテル。
- 25 日  
(日) ・ 奈良観光 後、大阪プラザホテル 泊。
- 26 日  
(月) ・ 日韓ケーブル、最終投入後、レベル低下が見られるとのことで、再揚収し、キンクによる  
リングカット部を除去するよう指示。(大阪プラザホテルにて 7:15.)  
・ 中国代表団、大阪支社、谷町ビル見学。  
新幹線にて、14:20 新大阪 発。  
・ 来日中の BTL Dr. Sipress ほか、に対する志村常務招宴に出席。(維新号、にて)。
- 27 日  
(火) ・ 日中ケーブル特別会議。10:00～12:00。  
討議状況を取りまとめ、全体会議へ報告する内容について協議。  
・ 全体会議 15:00～17:00。  
・ 会議要項案の作成にとりかかる。  
・ 総計 川鍋部長から、ケーブル船建造に関する関係役員懇談資料に対する意見をきく。
- 28 日  
(水) ・ 会議要項について、事務レベルで打合せ。  
・ 志村常務と、ケーブル船建造の関係役員懇談資料について打合せ。(11:00～12:00).  
・ 中国代表団の陳団長、袁驊氏、張広玉氏を研究所に案内。  
・ 日韓ケーブルの最終接続で、11:00 まで待機。
- 29 日  
(木) ・ 中国代表団、NTT 電話局、KDD ビル内見学。  
・ 訪韓中の織間部長より、パトロールについて請訓あり。
- 30 日  
(金) ・ 日中ケーブル特別会議、会議要項 署名式。9:30～。  
中国代表団、帰国の途につく。

- ・日韓パトロール問題。  
韓国側の規制措置，日本側のパトロール費用の処理など，について。  
国際部，経理部，法務部各部関係者と，志村常務の下で協議。  
織間部長より，Tel. 日本側支出と韓国側支出との相殺で，請求し合わないことにして了解が得られるかどうかを提案。

31 日 出社。  
(土) ケーブル船に関する関係役員懇談会資料を検討。

## 2 月

- 2 日  
(月)
- ・役員・部長打合せ，10:00～11:30。
  - ・ケーブル船建造に関する関係役員懇談会：(14:00～17:00)  
27F，第1会議室。  
ほぼ，満足な結論が出る。
- 3 日  
(火)
- ・織間部長帰国：日韓ケーブル修理，保守問題の協議。
  - ・吉田船長より，日韓ケーブル修理の模様についてきく。
  - ・北村，岩本両君らと，SCARAB に関する調査について打合せ。
  - ・志村常務招宴：日韓ケーブル修理工事関係者。
  - ・星齒科医院にて，前歯の修理。
- 4 日  
(水)
- ・非常障害対策本部，センタ長会議，14:00～16:00。
    - ・日韓ケーブル修理報告。
    - ・苓北中継所の問題。（日中特別会議の報告に関連して）
  - ・北村君の依頼で，N.Y. 事ム所塩原所長へ電話し，SCARAB の調査に N. Y. 事ム所から 1 名を参加させるよう要請，了承を得る。（夜，9:30）。
- 5 日  
(木)
- ・直江津中継所へ，漁協との懇談。
- 6 日  
(金)
- 同上
- 7 日  
(土)
- ・東京へ帰着
- 9 日  
(月)
- ・役員・部長打合せ。
  - ・日韓ケーブル第1回保守会議(2/7～2/20)の準備。
  - ・対処方針に関する常務会資料の検討。
- 10 日  
(火)
- ・ケーブル船に関する常務会資料について，志村常務，江幡君と協議。
  - ・ソウル事ム所 内山所長 打合せで帰国。  
昼食をともにし，懇談。
- 11 日  
(水)
- ・祝日。
- 12 日  
(木)
- ・常務会：日韓ケーブル保守会議 対処方針，審議，了承。
  - ・苓北中継所，高須所長，来訪。  
日中ケーブル修復までの間の，苓北中継所のあり方について意見交換。

- 13 日 (金) ・幹部会議にて、日中ケーブル特別会議(第4回)の報告。  
 ・日韓ケーブル保守会議への対応について部内打合せ、(14:40～ )。  
 ・星齒科。  
 ・日韓ケーブル修理完了に伴う、障害復旧センタ関係者の報労パーティ(18:00～ )  
 32F シャンボール
- 14 日 (土) ・出社。  
 ・日韓ケーブル保守会議 資料の Check。  
 ・ケーブル船 関係 常務会資料の Check。
- 16 日 (月) ・役員・部長打合せ。10:00～  
 ・ケーブル船資料について、常務と打合せ。  
 ・日中ケーブル保護のための、韓国漁業への PR と補償問題。
- 17 日 (火) ・日韓ケーブル保守会議、開催。9:30～  
 夜、志村常務 招宴。  
 総計部長より、ケーブル船 常務会資料について コメント。
- 18 日 (水) ・常務より、ケーブル船建造についての常務会審議を次週に延ばすとの話しあり、(19 日は取締役会あり、時間が不足のうえ、大事な問題なので資料も十分整えたいとのこと)。  
 ・日韓保守会議。
- 19 日 (木) ・日韓ケーブル保守会議。  
 ・人事部 林次長より、海底線関係の副参事クラスの異動について相談あり。
- 20 日 (金) ・日韓ケーブル保守会議。  
 Minutes(draft)の討議。  
 夜、MOC 代表と会食。
- 21 日 (土) 出社。朝 9:00～より MOC の(Minutes に対する)コメントについて検討。
- 22 日 (日) 江幡君と志村常務宅を訪問し、ケーブル船建造に関する常務会資料の検討(16:00～22:00)。
- 23 日 (月) ・役員・部長打合せ。(10:00～12:00)  
 ・織間部長より、日中ケーブル保護に関する韓国漁業組合との話し合いで補償問題がでる件について郵政省電政局技術室 平田補佐に話したところ、前にきいていて省内に伝えてあるが、とくにそれについてのコメントはでていないが、改めてきいてみるとのこと。  
 日韓ケーブル保守会議の報告をする必要があるので、松尾室長を訪ね、併せてきいてみることにする。  
 ・日韓ケーブル保守会議のミニッツ作成、(Mr. Kim と事ム局)。
- 24 日 (火) ・日韓ケーブル保守会議ミニッツ最終確認。10:30～11:30。  
 ・夕刻 齒科へ行き、そのまま 帰宅。
- 25 日 (水) ・海底線部内で、当面の作業について打合せ。  
 ・日中ケーブル保護のため、韓国漁協へ協力依頼する際の補償問題について。  
 志村常務と協議、社内での詰めがないので、常務会にはかるのは時期尚早とされ、当面は協力のみを訴え、補償問題は韓国漁民にも表明しないこととする。

- 26 日  
(木)
- ・ KDD 丸に代るケーブル船建造問題について、常務会 審議。  
いくつかのコメントのもとに、事前検討を進めること、ATT に KDD 丸は売らないとすることなど、了承さる。
  - ・ KCS 会議室にて、海底線両部、KCS で、日韓ケーブルの SCARAB による再埋設計画について、時機、母船の選択を検討、(13:30～15:30)。
  - ・ 総務部長と協議。
    1. 日中ケーブル保護のため、韓国漁民に協力依頼する際の補償問題。
    2. ケーブル船に関する常務会審議におけるコメントの確認。
    3. KCS プロパー増員に関する、連絡カードの返却。
  - ・ 海外協力部の要請で、インドネシアより来日の Messrs. Halim, Hajama との会食に参加（長 場所判読不明）。

- 27 日  
(金)
- ・ 幹部会議、10:00～12:30。
  - ・ 海底線両部間で、当面の作業の進め方について協議。(13:30～16:00)
  - ・ 3 月 3 日～7 日開催の ATT とのケーブル船作業部会の準備。

- 28 日  
(土)
- ・ 出社。

### 3 月

- 2 日  
(月)
- ・ 役員・部長打合せ 10:00～12:00
  - ・ SCARAB による日韓ケーブル修理部の再埋設計画について、OLU との関連で、検討を詰めるように、木下次長、猪股課長に指示。
  - ・ 人事問題(海底線技術部次長の問題など)について、志村常務と協議。

- 3 日  
(火)
- ・ ケーブル船に関する ATT との作業部会(第 5 回)開始。  
夜、Sweden Center “Stockholm” で食事に招く。

- 4 日  
(水)
- ・ ケーブル船 GW. 5。  
SCARAB に関し、木下、北村君、Mr. McCoullough と協議。

\*丸林元氏(長岡科学技術大学教授 0258-46-6000)より、直江津海底線中継所の見学について Tel. あり、(3 月 2 日)。

- ・ 4 月 10 日 am 11:00～約 1 時間、学部 3 年生、教官計約 100 名  
バスで見学後、好高へ向う。
- ・ 以上、直江津、柴田所長に伝える。

- 5 日  
(木)
- ・ ケーブル船に関する ATT との作業部会会合(第 5 回)。  
ミニッツ及び Final Report について討議。
  - ・ SCARAB について、木下、北村君らと共に、Mr. McCoullough と協議。  
ATT の Mr. Dodeman, Ocean Search の社長らと来週、東京で再協議することとなる。
  - ・ ATT 代表に対し、志村常務招宴。(維新号)、18:30～。

- 6 日  
(金)
- ・ ミニッツ(ATT との WG. 5)、について協議作成。  
夕刻、会議を終了。志村常務に報告。

- 7 日  
(土)
- ・ 出社、資料整理。

- 9 日  
(月)
- ・ 役員部長間定例打合せ、なし。
  - ・ 日韓ケーブル保守会議の常務会報告資料の作成。



- ・九州電力 深町取締役、前田、山川氏ら、苓北に設置計画中の発電所の建設案について KDD が諒承したことに伴う挨拶に来社。
- 10 日 (火)
  - ・ AT&T Mr. Dodeman, Ocean Search の社長ら来日。
  - ・ 午後 星齒科。
  - ・ OLUHO TSC-11 の討議項目と問題点について、江幡、矢口両君と打合せ。
- 11 日 (水)
  - ・ 午前、佼成病院。
  - ・ SCARAB について、ATT. Ocean Search の代表と、母船等について詳細打合せ、(木下次長に委任)。
  - ・ 志村常務より、埋設修理工法の開発推進について、基本方針を明確にするため、建設部長に協力の要望あり。
- 12 日 (木)
  - ・ SCARAB に関する ATT との打合せ：横浜に KDD 丸をみに、木下次長ら案内。
  - ・ ATT, Mr. Dodeman, Ocean Search Mr. Molum, Mr. Starr, を夕食に招待。(住友ビル、セ リナ)。
- 13 日 (金)
  - ・ 猪股、山本(2 課補佐)君に、SCARAB による日韓ケーブル再埋設の実施を 5 月に行うか 7 月に行うかの決定のための処理を進めるよう指示。
  - ・ 北村海洋課長より、ATT/ Ocean Search との打合せ要旨の報告あり。
- 14 日 (土) 休。
- 16 日 (月)
  - ・ 役員・部長打合せ。10:00～11:30。
  - ・ SCARAB による再埋設の実施スケジュールについて関係者間打合せ。(海技、海建、KCS, 13:30～15:30)
  - 7 月に、OLU 布設替工事に引続いて実施することの方が望ましいとの大方の意見。
  - ・ 志村常務に報告し、なお この基本方針について社内で定めるため、常務会の審議を経ることとする。  
常務会は、4 月 9 日に開かれるものを考えざるを得ないので、ATT, MOC へは、事前に口頭で伝え、意向を把握することとする。
- 17 日 (火)
  - ・ 部内で、SCARAB 関係の事ム処理を協議。
  - ・ 常務会に、日韓ケーブル第 1 回保守会議の報告。
- 18 日 (水)
  - ・ 午後、佼成病院にて、胃カメラ検査の結果聴取。
- 19 日 (木)
  - ・ NASC 取締役会、11:00。昼食会 12:00～
  - ・ ケーブル船小委員会(第 10 回)を開催 14:00～15:15  
ATT との WG/5 の報告。
- 20 日 (金)
  - ・ 幹部会議、木下次長に代理出席依頼。
  - ・ 新技術開発委、海底線部会(第 2 回会合)に 出席。9:30～13:30
  - ・ SCARAB による再埋設の件：志村常務に現在までの検討状況と中間報告
  - ・ 日韓ケーブル完成に伴う、メーカーとの懇親会：Sun Route Hotel。
  - ・ OLU 布設替工事の実施についての常務会審議の要否に関し、西本総務部長と協議。
- 21 日 (土) 祝日(春分の日)



- 23 日  
(月)
- ・ 人事異動 発令.  
木下次長, ソウル事務所長に, 高橋副参事, 海技部次長に.
  - ・ 富士通 室井顧問より Tel. T-SI-S ケーブルのペチャプリーソククラ間に, CS-12M の代りに[CS-5M +TASI-E]という代案の出ることも考えられそうだとし, TASI-E のコスト等につき問い合わせあり.
  - ・ 台湾, ITA 李天雲氏 ほかに対する 志村常務招宴に 出席.
- 24 日  
(火)
- ・ 海底線技術部 打合せ. (10:00~11:30).
  - ・ 人事異動後の打合せ, 当面の問題など.
  - ・ ホテルサンルートに, 日韓専門家会合(計画)出席のため来日の李盛喜(国際業務課長), 丁奎燦(保全局伝送無線課長: 日韓ケーブル保守連絡責任者)を訪ね, SCARAB による再埋設の実施計画案の検討状況を説明.
- 25 日  
(水)
- ・ 技計部主催, 光ケーブル開発に関する NTT への協力依頼(56 年度分)についての関係者間打合せに出席(10:00~11:30).
  - ・ OLUHU. TSC/11 の対処方針案の検討.
- 26 日  
(木)
- ・ 韓国 MOC, Mr. Jung(丁 課長)来訪, ソウルにて開催予定の日韓ケーブル専門家会合開催期日を5月20日頃にしてほしいとの話(4月は通信部は, 行事等で忙しい), 了承する. (15:00~ ).
  - ・ 畠山課長より, SCARAB の借用に伴う, 輸入税の問題の調査状況の報告あり.
  - ・ 日韓ケーブルの建設記録(国際通信の研究誌)の原稿作成を進める.
  - ・ 日通建 高呂氏 来訪.
- 27 日  
(金)
- ・ 幹部会議.
- 30 日  
(月)
- ・ 役員・部長 打合せ. 10:00~12:00.
  - ・ OLUHU. TSC-11 回会合について 関係者打合せ, 13:30~. 各議題について, 資料の協議.
  - ・ 駐韓国・前田大使との懇談(志村常務 招宴).  
NASC 森監査役, 海技・海建 部長, 木下 ソウル 所長.
- 31 日  
(火)
- ・ 昼, 海技部 関係の異動に伴う歓送迎会: 12:00~13:00. 北京大飯店.

## 昭和 56 年度

## 4 月

- 1 日  
(水) ・ 会社創業記念日.  
帝国ホテルにて, 記念式典, 及び祝宴.
- 2 日  
(木) ・ OLUHO, Tech. Sub. Committee 第 11 回会合. (4/2~4/4).  
・ 9:30 より開始, CW: Mr. Pitt. ETPI: Mr. Handley 出席.  
布設替工事の討議.  
・ 夜, 笹本常務の招待セレプション. (新宿会館).
- 3 日  
(金) ・ OLUHO. TSC. 第 2 日目.  
討議を終え, Minutes 作成に入る.  
事ム局(矢口, 京極, 山本君ら)と, 夜までミニツツ案を作成.
- 4 日  
(土) ・ OLUHO TSC. 最終日.  
・ 10:00~12:30, Minutes 確認, 会議終了.  
昼食, Hyatt, (小田急)ホテルで, 中華料理. 1:30~3:00.  
・ 笹本常務に TSC の討議模様を報告.  
・ 海協部 三宅部長より, メダン-シンガポールケーブル, ルート調査に関する対応について協議あり.
- 5 日  
(日) ・ OLUHO 出席者エクスカ・レヨン.  
絵画館→北の丸公園→昼食(Piaget, 麻布)→浜離宮→墨田公園(桜見物)→浅草→国際劇場→京王プラザホテル.  
KDD 側: 志村常ム, 国際部, 海底線.
- 6 日  
(月) ・ OLUHO 調査委員会 第 11 回会合 開催, 9:30~.  
午前中に討議終了.  
昼: 32F .  
午後, 16:30 再開: ミニツツ確認, 会議終了.  
・ 夜, 副社長招宴: Hyatt(小田急)ホテル: 27F レストラン.
- 7 日  
(火) ・ OLUHO 会議資料の整理.  
・ 吉田電気 KK(NEC の下請け, パソコン, マイコンの取扱い会社)の開店披露に出席.
- 8 日  
(水) ・ 志村常務に, OLUHO 調整委会合 の報告. (9:20~)  
・ 日中・日韓ケーブルの保全, OLU の布設替等に関する今後の作業計画について 志村常務に建設部長とともに説明. (11:00~ )  
なお, シンガポール-メダン間の海底ケーブルルート調査についての入札を KDD に求めている件については, これを全面的に受けることは難しいので海協部と協議中である旨を説明.  
・ 施設課 高井補佐から, OLU 布設替用 torsionless cable の, とくに機械特性について試験, 評価 結果をきく.
- 9 日  
(木) ・ 午前, 星齒科.
- 10 日  
(金) ・ 幹部会議.  
・ TSC(11)の事務局メンバー(矢口, 京極, 小林, 又吉, 大原, 鈴木)の慰労.  
(シャワーウッド).

- ・日中ケーブル障害対策の基礎調査を進めるための事案決定文書について、副社長の意向により、KDD 単独で進める方向で経理部を再協議のこととなる。  
(技術的、開発的内容を伴うものが、費用分担の結果、ヒモが付いて相手に作業を制約されたり、技術提供が義務づけられるのは不適當ではないか：副社長。)
- 13 日  
(月)
  - ・役員・部長 定例打合せ、なし。(表敬があるため)。
  - ・NEC 田畑氏、シンガポールメダン海底ケーブルのルート・サーベイ入札について状況問い合わせの Tel. : straight に応ずることは困難の旨、返答。
  - ・山口・島根県下の漁協に対する、ケーブル保護協力あいさつと再埋設計画の説明のため、浜田、下関方面へ出張の打合せ。  
：建設部 小池課長 ほか。
  - ・日中ケーブル障害対策のための基礎実験、調査計画の事案の承認を副社長から得る。
- 14 日  
(火)
  - ・新技術開発委員会 10:00～12:00.  
16:00～17:00.
  - ・日中ケーブル障害対策のための基礎調査計画の事案について、社長に報告。
- 15 日  
(水)
  - ・日韓ケーブルの保護協力要請と、再埋設計画の予定説明に、島根、山口の漁協、漁連、保安部を訪問のため出張。  
浜田漁協、県底曳連と懇談。
- 16 日  
(木)
  - ・浜田海上保安部、児玉部長を訪問。
  - ・浜田漁港で、底曳漁具、船錨をみる。
  - ・浜田中継所訪問。
  - ・萩へ。
- 17 日  
(金)
  - ・仙崎へ。
  - ・山口県漁連仙崎支所、訪問。
  - ・仙崎海上保安部 訪問。
  - ・下関へ。  
山口県漁連訪問。  
本間会長、富永課長と懇談。
- 18 日  
(土)
  - ・帰着。
- 20 日  
(月)
  - ・志村常務に、出張報告。
  - ・通信記念日、定例の役・部長打合せなし。
  - ・高橋次長から、出張中の報告をうける。  
・KDD 労組との春闘解決(4 月 17 日)。  
・その他。
  - ・海建部長より、OLU 布設替工事の実施についての常務会の状況の報告。
- 21 日  
(火)
  - ・メダンーシンガポールケーブル・ルート調査の応札書案(海協部作成)にコメント。
  - ・OLU 布設替工事に対する、代船の問題について、国際部長より措置を社長に説明したと Tel あり、(OLUHO 外のパートナーへの事前協議)。
  - ・日中ケーブル障害に伴う、苓北中継所の運営の暫定措置についての関係役員懇談会に出席(14:40～16:30)。
  - ・庶務部 堀越さんより、最近訪中した際、SPT と話した情報を受ける。
- 22 日
  - ・KDD 丸へ、研究所が実施中の光海底ケーブルのハンドリング、接続等の実験状況をみに行

- (水) く。(14:30～ )  
志村常務ほか、関係者.
- 23 日  
(木) ・海技部 打合せ：9:30～10:30, 現状について打合せ, 確認.  
・韓国 MOC 企画管理室長 Mr. Pae. Ho-Wohu(裴氏).  
国際業務課課長補佐, Mr. Chung. Kyong-Jin(丁氏).  
の社長表敬の席に参列。(14:00～15:00).  
・ATT. Mr. Nicholes, Mr. Tuttle Jr, Mr. Pappert 三氏が5月14日, 15日 KDD へ寄る旨の  
Telex 来信. ケーブル船, SCARAB, TPC-3 等の問題について, Mr. Tuttle/Dr. 志村間の話  
し合いが予想されるので, その準備をするよう江幡君に指示.
- 24 日  
(金) ・午前, 佼成病院にて, 胃カメラ検査を受ける. 良好の判定.  
・吉田船長 来訪, 昼食.  
・OLU 布設替工事についての組合説明, (15:00～16:00).  
・SCARAB 借用について ATT から, Agreement 案 FAX で送付され, 検討.  
・文書課長より, 日韓ケーブル露出部分のパトロールについて, KDD 単独負担で行なっている  
経緯の説明を, 副社長が求めている旨連絡あり.
- 25 日  
(土) 出社.
- 27 日  
(月) ・役員, 部長間定例打合せ.(10:00～12:00).  
・宮副社長に, 日韓ケーブル露出部分のパトロールを KDD が単独負担で行っている経緯と状  
況を説明. 本来, 折半すべきものを, 徒らに譲歩しているのではないかと意見.
- 28 日  
(火) ・富士通 関川, 奥村氏ほか, 来訪.(10:00～11:30).  
織間部長とともに会い, 日韓ケーブル中継器の障害原因の調査結果の今後の取扱いと, MOC  
との協議の方向について, 意見交換.  
・契約書の条項の解釈と, 原因の技術的条件について検討ののち, 5/11 に再度打合せることとする.  
・SCARAB の使用に関する Agreement 案について, 2 課 畠山課長, 山本補佐らと検討, 資材  
部, 法務部との打合せ結果を考慮し, ATT とどう協議するか, 又, MOC とどう協議するか.
- 29 日  
(水) ・祝日.(天皇誕生日).
- 30 日  
(木) ・日韓ケーブル建設の報告, (国際通信の研究誌用)の“あとがき”の原稿を, 幹事(矢口補  
佐)に提出.  
・SCARAB に関する ATT との借用協定について, ATT からの Agreement 案と関係部門での検討  
状況を, 志村常務に説明, (中間報告).  
.

## 5 月

- 1 日  
(金) ・管理者 定期管理表を作成. 人事部長(4. 5 級), 及び志村常務(2. 3 級)へ提出.  
・5月14, 15日の ATT. Mr. Nicholes, Mr. Tuttle の来訪に備え, とくに Mr. Tuttle からの  
技術項目(TPC-3, Cable Ship, SCARAB, Optic-Fiber)の状況について討議したいとの意  
向をうけて, その準備を進める.  
・日韓間技術専門家会議への出席について, 志村常務と協議, 出席の方向となる.
- 2 日  
(土) ・出社.  
・資料整理.

- ・ATT より、SCARAB の借用協定(用船契約書)案が再送されてくる (legal department により作成されたもの).

3～5 日 祝 休日.

- 6 日 (水)
- ・ATT より送付されてきた SCARAB の charter party 案について、畠山、山本 君らと検討。(10:00～11:00).
  - ・OTC(A) より TLX : ANZCAN の工場検査に資するため、KDD がとっている検査のし方について問い合わせ(同文、フランス、ATT へも送付).
  - 猪股課長、高井補佐(施設課)、支社保全部徳江調査役と、その回答作成について協議。(13:45～14:30).
  - ・徳江氏と、海底線関係の組織の見直しについて意見交換.
  - ・東北大 21 年組 G.C. について、宇和野、森山 両君と協議。(19:00～21:00).
- 7 日 (木)
- ・東大海洋研究所 青山恒雄教授(農博)に依頼し、“日本周辺における漁業活動”に関する講演会を開催。(15:00～17:00).
  - ・懇談会食。(志村常務の 青山教授招宴).
- 8 日 (金)
- ・幹部会。(高橋次長 代理出席).
  - ・志村常務に、報告(米海軍による、日韓ケーブル域を含む東シナ海、日本海の海底土質調査の了承、一郵政省へ)
  - ・郵政記者クラブにて、OLU ケーブル布設替工事の説明を、広報課長に同行し、行う。朝日、小笠原記者 他.
  - ・海底ケーブル委、計画小委員会(第 3 回)16:30～18:00.  
“TPC-3 計画の見直し”.
- 9 日 (土)
- ・研究所 G. コンペに参加(錦ヶ原)
- 11 日 (月)
- ・役員・部長定例打合せ。(10:00～11:00).
  - ・日韓ケーブル、障害中継器の調査結果、及び契約状況について、富士通関係者と打合せ、(13:30～15:00).
  - ・花岡薫氏の出版祝(新宿舎館)。18:30～20:30.
- 12 日 (火)
- ・海底ケーブル委員会、技術小委員会(第 4 回)10:00～12:10.  
再埋設工法開発計画の見直し など.
  - ・飛山さん、死去され、告別式(高円寺南 2 丁目、淨雲寺)13:30～、弔問.
  - ・日韓ケーブル、技術専門家会議(5/19～5/22、ソウル)KDD 出席者 打合せ、(14:00～16:00).  
対処方針の事案決定を進めることとする.
  - ・技術部・2 課と懇談.
  - ・NASC 古橋社長に、韓国出張のため、取締役会(5 月 19 日予定)に欠席の了承を得る.
- 13 日 (水)
- ・OLU ケーブル布設替工事のため、出港の KDD 丸を横浜にて見送り、(11:00、出港).
  - ・ANZCAN ケーブル E 区間のスケジュール繰上げ、KDD 丸は都合上困難と NEC 田畑氏に回答(口頭).
  - ・ATT Mr. Tuttle と志村常務間の informal discussion(5 月 14 日夕刻予定)の準備打合せ。(15:00～16:00). 志村常務.
- 14 日 (木)
- ・OCC 斎脇氏 来訪(9:30～10:20)
  - ・埋設ケーブル保護のための外装化に関し、強度実験をどう進めるか.
  - ・TP0-3 等の見直し、などについて雑談.

- ・牧野顧問，継続について，牧野さんも了承したとのこと。
  - ・小関君(技計部次長)より：米軍ケーブル(沖縄－台湾，フィリピン－ベトナム，タイ－ベトナム)の払下げについて，富士通 室井顧問から，話しが合った，とのこと，以前に沖台間ケーブルについて，KDD に非公式打診が米軍からあったが，価値少しと受けなかった経緯を話す。
  - ・総務部・佐脇次長より：日昇丸・米国原潜 衝突に関し，附近に海底ケーブルがあるかとの問い合せ，かなり離れていると回答。
  - ・ホテル Hyatt にて Mr. Tuttle Jr. (ATT)と志村常務との会談に参加。(16:30～18:00).
    - ・TPC-3, Cable Ship, SCARAB, Optic-Fiber(研究所間の交流)など。
- 15 日 (金)
- ・Taiwan-Guam ケーブル開通式出席後，訪日の ATT. Messrs. Nichols, Tuttle Jr., Pappert と，KDD 社長，関係役員・部長間の会合に出席，(10:30～12:15).
    - ・ATT の電話料金値下げ。
    - ・米本土－ハワイ間ケーブルの計画を進めるための検討。
    - ・ANZCAN ケーブル，ミュンヘン会合への対応 など。
  - ・上記 ATT 三氏に対する児島常務の昼食招宴に列席。(13:00～15:00)
  - ・日韓ケーブル，技術専門家会議 対処方針について，副社長より指摘された KDD 丸第 2 経常費に関する対処案を改め，了承を得，決裁になる。
- 16 日 (土)
- ・出社。
  - ・日韓ケーブル 技術専門家会合の 準備。
- 18 日 (月)
- ・朝，会社へ寄り，志村常務に挨拶，対処方針に対する副社長コメントの事後報告。常務より。
    - (1) 日中ケーブル障害の抜本策の中でルートについても検討すること。
    - (2) SF システムを大西洋に布設後，ATT が障害対策のため，700nm の引揚を行ったが，その 1/4 しか傷めなかった(mid Atlantic ridge にて)との話しを Mr. Tuttle から聞いたので，OLU の回収工事に参考にしたらよい。
  - との話しあり，(1)については，高橋次長，猪股課長に。
    - (2) " 織間部長に伝達。
  - ・ソウルへ向け出発。
- 19 日(火)～21 日(木)
- ・ソウルにて，MOC と 日韓間海底ケーブル保全の技術専門家会合。
- 22 日 (金)
- ・会合ミニッツ確認後，釜山へ，午後 3 時の汽車で向う。
- 23 日 (土)
- ・釜山 ケーブル中継局訪問。
  - ・午後，16:45 JL で帰国。
- 25 日 (月)
- ・志村常務に帰国の挨拶。MOC との会合の概要を口頭報告。
  - ・高橋次長，猪股課長より，出張中の処理状況の報告をうける。
  - ・富士通 森山顧問に Tel. 東北大昭 21 ゴルフコンペの件。
  - ・安藤電気 鈴木熙君に Tel. 上記コンペに誘い，承諾を得。
- 26 日 (火)
- ・富士通 奥村氏，小野部長ほか，来訪。13:30～15:00
  - ・日韓ケーブルの中継器障害に関しての MOC との討議模様について，話し，今後の措置について協議。
- 27 日
- ・ATT. Mr. Tuttle との会談(5 月 14 日)の要旨をとりまとめ。

- (水) 28 日 (木)
- ・日韓ケーブル保守に関する技術専門家会合報告 作成：連絡カードで報告。
  - ・ATT. Mr. Tuttle との会談要旨に関し、研究所間相互訪問・技術交流におけるクロスライセンス問題の表現について、志村常務、中込取締役と協ぎ(10:00～)。
  - ・上記、会談要旨を、副社長に報告。(17:00)。
  - ・臨時幹部会議、(決算、報告について)。(11:40～12:30)
- 29 日 (金)
- ・幹部会議(10:00～12:00)
  - ・社長に、ATT. Mr. Tuttle との会談要旨を報告(11:50)。
  - ・計画小委(第4回)会合：太平洋ケーブル計画の動向、(ATT. Nichols 副社長一行との会談結果)。
  - ・SCARAB による日韓ケーブルの再埋設についての社内決定の進め方について、関係部長(総務、法務、資材)と打合せ(16:00～17:00)。
  - ・用船契約について、MOC に基本事項を確認し、TP1 に、質問とコメントを出し、それらをまとめて、社内決定することとする。
- 30 日 (土)
- ・休。
  - 東北 21、同窓 ゴルフコンペ。

## 6 月

- 1 日 (月)
- ・SCARAB の用船契約についての基本事項を MOC に確認のため、畠山課長から木下ソウル事ム所長に Tel。
  - ・OLU 布設替工事の Phase1(回収工事)が終り、Phase2 に入る。
  - ・台湾、ITD C Mr. Y. Y. Yang より Tel。
  - ・沖台ケーブルの warning chart はいつできるか：本年秋の予定、(NTT にケーブル交叉について確認中)できたら、送付してほしい：了解。
- 2 日 (火)
- ・SCARAB 関係打合せ。(10:00～11:00)
  - 高橋次長、畠山課長、山本補佐。
  - 1. Charter Party の詰めの手順。
  - MOC, TPI と基本点について協議し、細部はそれから詰める。
  - 2. 常務会資料について骨子を用意しておくこと。
  - 3. 全体スケジュール。(7 月下旬実施として)。
- 3 日 (水)
- OLU 布設替工事の中間打合せのため、沖縄出張。
- 6/3～6/6.
- 3 日午後、 KDD 丸船内で、工事打合せ：KDD, KCS, 関係者、14:00～16:00。
- 夜 懇談。
- 4 日(木) 沖縄海底線中継所、訪問。
- 5 日(金)午前、沖縄海底線中継所、港川にてハーリー祭 応援。
- 午後、KDD 丸訪問、積込状況を見る。
- 6 日(土)、 KDD 丸沖縄出港 見送り 14:00 安謝新港。
- 東京、帰着。
- 8 日 (月)
- ・役員・部長定例打合せ、10:00～。
  - ・高橋次長より、出張中の報告をうける。
  - ・OLU 布設工事、荒天待機。
- 9 日 (火)
- ・SCARAB の契約について、MOC からのコメントに回答。
  - ・日中ケーブル障害対策に関する新聞記事について、郵政省へ状況説明(高橋次長、畠山課長)。
  - ・社長の定例記者会見における OLU 布設替工事の話題の資料(現況)作成について広報室よ



- り依頼あり、二瓶施設課長に指示.
- 10 日  
(水) ・ OLU 布設替工事, 天候好転し, KDD 丸作業開始.  
・ 社長記者会見時の, OLU 関係資料作成, (施設課長に依頼).
- 11 日  
(木) ・ 社長記者会見時に, 志村常務よりバシー海峡の底層流の存在について触れたのを受けて,  
NHK 小沢記者が底層流のモデル実験の話しを聞きにくる, (中川広報課長, 案内).  
台風 4 号の接近により, KDD 丸は OLU 布設替工事を中断し, 待避.
- 12 日  
(金) ・ NASC 取締役会(11:00~ ).  
・ 幹部会議・高橋次長に代理出席依頼.  
・ 夜, 2 課長 ほかと懇談.
- 13 日  
(土) ・ 休み
- 15 日  
(月) ・ 役員・部長打合せ, (10:00~11:00).  
・ 新技術開発委, (第 53 回). 14:00~17:00.  
・ SCARAB に関し, ATT. Mr. McCullough に Tel, (22:00. JST. 10 分間).
- 16 日  
(火) ・ 全国まき網漁業協会を訪問, (赤坂, 山王), 江幡役, 同行.  
宮本専務理事, (旧成城高 同窓), 遠洋施網漁協 常務理事 尾崎氏と会い, 日中ケーブルの  
保護協力に関する希望を説明, (14:00~15:00).  
・ 富士通 奥村, 三村氏 ほか 来訪, (16:30~ ).  
オランダーデンマークケーブルの受注の新聞発表, メリディアンケーブルの応札への了承  
を得たいとのこと, 了解.  
・ MOC より, SCARAB に関する基本的了解の TLX, 来信, 志村常務に報告.
- 17 日  
(水) ・ SCARAB charter party draft への comment を検討.  
・ ETP1. Mr. Galingan 沖縄より東京へ. 夜, 懇談会食. (セリナ).
- 18 日  
(木) ・ 京極君より, 日韓ケーブルの障害中継器のサージ保護について, MOC/KDD から出された質問  
に対する富士通の回答状況の報告あり.  
・ 第 11 回 ケーブル船小委. (14:00~17:00).
- 19 日  
(金) ・ SCARAB による再埋設の実施についての常務会資料の検討.  
・ Occan Search Inc. より, SCARAB 発送について 7 月 20 日頃との返あり.
- 20 日  
(土) 出社.
- 22 日  
(月) ・ 役員・部長定例打合せ, (10:00~11:30).  
・ “SCARAB による再埋設工事の実施について” の常務会資料の検討.  
・ 元通研 河合卓夫氏(現. 電気通信科学館, 勤務)より Tel.
- 23 日  
(火) ・ 常務会資料(SCARAB)のつめ.  
・ SCARAB の使用契約書案の内容と, TPI/MOC との協議模様を, 志村常務に説明. (14:00~17:00).
- 24 日  
(水) ・ OLU 布設替工事: カップリングに傷があるため, 取替えて布設中断.  
・ MOC, SCARAB 使用契約書案について, 署名者となる意向を撤回したい旨, 木下所長を介し  
申し出る. 木下所長より TLX 来信.



- ・ TPI(ATT) より, Revised Draft のコメント来る.
- 25 日 (木) ・ 木下所長に Tel. し, MOC の希望を入れ, 東京で KDD/MOC 間の会合を開くことを提案したい  
旨 MOC に伝えてもらい, MOC 了承の返事を得る.  
MOC へ TLX, 及び Revised Draft を FAX で送付.  
・ KDD 東北大出身者同窓会, (18:30 ~ )
- 26 日 (金) ・ 幹部会.  
・ MOC より TEL (Mr. Kim, 水野君 受け).  
東京での会議は開くことを希望しない, 契約書案について MOC を除くことのコメントは,  
木下所長に説明する. 会議は不要の旨は TLX を出すよう検討する, とのこと.  
・ OLU の布設替工事終了に伴ない, 沖縄へ出張.
- 27 日 (土) ・ 沖縄海底線中継所にて, 最終接続, 布設投入時の試験に立会う.  
15:05 最終投入終了, 工事終了を祝う.  
・ 夜, 関係者と食事.
- 28 日 (日) ・ (特記事項なし)
- 29 日 (月) KDD 丸 9:00, 沖縄港入港, 出迎え.  
Mr. Mawson, 織間, 北村君らと東急ホテルで食事.  
夜, 志村常務名の慰労パーティ. (不二ホテルにて).
- 30 日 (火) ・ 9:00 発 JL900 便で 帰京.  
・ NASC 株主 総会 14:00 ~.  
・ 志村常務, 木村社長 (KCS) にあいさつと報告 (OLU 工事終了について).  
・ NASC, 社長招宴.

## 7 月

- 1 日 (水) ・ SCARAB による日韓ケーブルの再埋設の計画を進めるため, ATT Mr. McCullough に Tel.  
(夜, 10:00, N.J. 朝 9 時).  
・ MOC が再度, 契約の署名者となる件を撤回したこと.  
・ それに伴う, charter party の変更.  
・ 契約締結への進め方.  
・ MARCAS による観察結果の情報を送る etc.
- 2 日 (木) ・ 「日韓ケーブル再埋設工事の実施」について, 常務会で審議了承さる.  
その際, ①MOC が共同責任をもつこと, についての確認をとること.  
②再埋設後のケーブル保護について, 漁業関係者への周知徹底を図ること,  
のコメントがあったとのこと.  
・ 関連会社, 団体役員に対する KDD 会長, 社長招宴, (新宿会館).
- 3 日 (金) ・ 日韓ケーブル再埋設工事の実施について, 幹部会へ報告.  
・ ATT へ, SCARAB による再埋設工事の実施が KDD で承認されたので, 計画を進めるよう依頼  
の TLX 発出.  
・ 韓国 MOC 李保全局長へ, SCARAB の据付時の訪日を求める TLX を志村常務名で発出.
- 4 日 (土) ・ 出社, 資料整理.

- 6 日 (月) ・富士通 室井氏より Tel にて、T-M-S ケーブルの Letter of Intent が 7 月 2 日に発出され、正式契約調印は、7 月末になろうとのこと。  
 ・役員・部長 定例打合せ。10:00～11:00)  
 ・実施率の問題について、技術計画課長より検討状況の説明あり。  
 ・日韓ケーブル再埋設の実施について、進めるため、部内打合せにて、部内の協調体制を要望。(11:00～12:00)。
- 7 日 (火) ・建築部 糸居建築部次課長 より、ケーブル保管庫として借用している土地を、所有者の辰巳倉庫が売却したいとの意向がある旨が、鶴岡元副社長から、KDD に伝えられている、(宮副社長→笹本常務?)とのこと。  
 ・OCC との懇親会：(18:00～20:00, 32F. )
- 8 日 (水) ・OLU 布設替工事完了に伴ない、調整委メンバ及び台湾 ITA に終了のあいさつを笹本常務から送る件について、常務と協議、国際部に TLX 文作成を頼むこととなる。  
 ・日韓ケーブル再埋設工事の実施計画について、郵政省 技術室長(松尾氏)に説明：(国際業務課中沢係長(?)も同席。KDD は国際部皆谷社員同行)。
- 9 日 (木) ・辰巳倉庫より、専務、後藤、長竿常務、来訪、(15:00～16:00)。  
 志村常務と、鶴見埠頭の現有地を辰巳倉庫が売却の意向がある旨をきく。KDD がこれを受け取るべきかどうか、検討することとする。  
 ・ATT(TPI)より、8 日付発信の SCARAB charter party 案 送付さる。内容についてはほぼ問題なし、と思われる。  
 ・OLU 布設替工事終了に伴ない、TSC 等の関係者(猪股、江幡、北村、山本、京極)を招き、自宅で懇談。
- 10 日 (金) ・7 月 14 日夜の 韓国大使 ほかの志村常務 招宴のアレンジ。  
 招待状の発送を、浅野秘書役に依頼するとともに、海協部 三宅部長に連絡。  
 ・幹部会議。(10:00～12:15)。  
 ・全国まき網漁業協会 宮本専務理事 に Tel。  
 日韓ケーブル再埋設工事实施に伴ない、山口、島根の漁協等を訪問するに当り、境港のまき網関係組合を訪ねたい旨を話し、連絡を依頼。
- 11 日 (土) 出社。資料整理。
- 12 日 (日) ・山口県漁連、三菱重工 下関造船所訪問のため、下関出張。  
 12:00 発、JL361, 下関、旅館左登泊。  
 畠山課長、KCS, 吉田船長、小林(宗)業務課長 同行。
- 13 日 (月) ・三菱重工、下関造船所へ、(10:00～12:00)。  
 SCARAB 据付のための KDD 丸補強工事について打合せ。  
 ・夕刻より、山口県漁連、本間会長 ほかと懇談。
- 14 日 (火) ・下関 9:46 発、あさかぜにて、博多へ。  
 福岡空港 発。12:30, JL360 にて帰京。  
 ・韓国大使、(催慶録、氏)、朴総領事、金参事官の、志村常務招宴に 同席。  
 KDD 側、志村、笹本常務、海技、建部長、海協部長。  
 NASC、森監査役。